	基本事	坐 夕	舞和の	とれた土	- 44 和 田 /	の推准			象		市域						
	基本事	717.12			.起剂用(の推進	基本事業の	(誰を	•何	を)	川城						
	基本事			111-01			歴本事業の概要		的		適切でバ	ランスの取れ	1.ナー 十 批	利用を計画	前的に推進す	±5.	
第6	次羽曳	曳野市総·	合基本	計画				(どうした	:610	ひか)	~ // *	2		.,,,,,,		, 00	
	施策目 施策	標		快適でう。 土地利用		ある住みよいまち				指標	名		単位	H28.4時 現状値(総		29年度 実績	32年度 目標(総計)
	ル東 施策の	方向	1			世利用の推進	 総合基本計画	ī						近い 恒(私) III	大根	口1赤(小0日)
	まちづく	りの				原を活かしたまちづくり >・安全に暮らせるまちづくり	目標指標										
Ē	戦略					D活力と成長に向けたまちづくり											
		事務	事業名	i	都市計	画客議会運営事務事業			litte	■務事業 =	コード	111-01-	-01				
		総計に基づ業の進捗		(29年度)	Α	順調である	継続· 新規	継続		ま定・ 自治	治事務(義	務的なもの) 担	旦当 H29	都市	計画課	H30 都	市計画課
			対象(計	誰を・何を)	羽曳野	市都市計画審議会		_	294	F度事務事	業評価 (28年度実施事	業) 最	b 終結果		二次評価対	象事業
1		× * * * *]的	жт <i>ь</i> .	○ □ 没に 実営士 7				総合	評価・	1日小松 # # #	夕知上	からの証件	妥当性	有効性	効率性
		務事業の 概要	(どうし†	たいのか)	適止か	つ円滑に運営する。					方向性	現状維持			Α	Α	Α
				F段 K内容)		├画の決定·変更にかかる案件で 議会の議決、意見を求める。	を審議会に付議	又は諮問			業費 負担額)	28年度2	3,149	29年度	E(当初)予算 3,307	実施の	実施
			() .		O. Hr	成立の成人、心元と小いる。					単位:千円	(3,149) (3,307)方向性	
		事務	事業名	i	都市計	画基礎調査関連事務事業			luli.	፮務事業=	コード	111-01-	-02				
		総計に基づ 業の進捗		(29年度)		1	継続・ 新規	隔年または不定期		ま定・ 自治	治事務(義)	務的なもの) 担	旦当 H29	都市	計画課	H30 都3	市計画課
			対象(計	誰を・何を)	羽曳野	市全域			294	F度事務事	業評価 (28年度実施事	業) 最	と終結果		二次評価対	象事業
2		務事業の		1的		于下の都市化の動向について把	!握し、都市計画	に必要な基			評価・	現状維持	多 組占	からの評価	妥当性	有効性	効率性
		概要	(どうし†	たいのか)		を整備する。 - ************************************					方向性				Α	Α	Α
				F段 K内容)	イクル	らづく基礎調査を大阪府から委託 とし、土地利用現況、建物現況	、都市施設、市	街地整備の			業費 負担額)	28年度2	天算額 3,691	29年度	E(当初)予算 0	1130	実施
			(42	KI JU /	状況等	F、大阪府が設定した調査項目I	について調査を	行う。			単位:千円	(3,691) (0)方向性	
		事務	事業名	i	生産緑	地関連事務事業			lulic	≨務事業=	コード	111-01-	-03				
		総計に基で 業の進捗		(29年度)	Α	順調である	継続・ 新規	継続		ま定・ 自治	治事務(義	務的なもの) 担	旦当 H29	都市	計画課	нзо 都	市計画課
3			対象(計	誰を・何を)	生産緑				294	F度事務事	業評価 (28年度実施事	集) 最	と終結果		二次評価対	象事業
3	事務	事業の 概要		目的 たいのか)		と区域の緑地の農地の適正な保 環境を形成する。	民全を図ることに	より、良好な			評価・)方向性	現状維持	各視点	からの評価	妥当性	有効性	効率性 A
				手段 美内容)	・生産 の事務 続き	緑地の新たな指定・買取申出が 例処理・生産緑地の解除・変更に	「なされた生産終 に伴う都市計画	录地について 変更等の手			業費 負担額) 単位:千円	28年度2	決算額 4,060 4,060	29年度	(当初)予算 3,333 3,333	実施の	実施

						1 4	-							1
基	本事業名	良好な市街	也の形成				象 •何を)	市域						
ā	基本事業	112-	01		基本事業の									
	コード				概要	目 (どうした	的 -いのか	自然理	環境等にも配	慮した秩序	序ある市街地整備	情を図る。		
	欠羽曳野市総													
	策目標 策		ごうるおいの 川用・市街地	ある住みよいまち				指標名		単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	l _B	32年度 標(総計)
	策の方向	2 良好7	市街地の用		総合基本計画	层外広生物	- 51 7 2	る指導による	商正化窓	%	0.0		7.5	35.0
ま	ちづくりの			原を活かしたまちづくり	目標指標	生/1:四日初	- ×1 7 1	2月4月1~2~2)	四正 10十	70	0.0	<u></u>	7.5	33.0
戦	略			・安全に暮らせるまちづくりご活力と成長に向けたまちづくり										
		and alle to	40.4.01		•	•					<u>.</u>	•		
		系事業名 	都市計	画関連証明等発行事務事業				事業コード	112-	01-01				
	総計に基事業の進捗		F度) A	順調である	継続・ 新規	継続	法定 自治		義務的なもの)	担当 #2	都市計画	課 H30	都市	計画課
		対象(誰を・何	を) 市民及	び事業者		•	29年度	事務事業評価	(28年度実)	施事業):	最終結果	二次	評価対象	文事業
1		865						総合評価・		1		当性 有	効性	効率性
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいの	_{か)} 必要と	する情報を提供する。			4	総合評価 今後の方向性	改善して終	継続 各視点	気からの評価	Α	Α	Α
	177.5	手段		画法に基づく区域区分や地域地区等				総事業費		度決算額	29年度(当		30年度	-1-11
		(事業内容		テ・都市計画図等の一般販売証明書(1 ス1000円)都市計画マスタープラン(1冊1700		対500円)都市計	(うち市負担額		369 300) (実施の 方向性	実施
								単位:-	FH) (300) (
								単位:-	FH (300		314)	7) PJ IX	
	事務	§事業名	航空写	真測量事業			事務	事業コード	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	01-02		314)	刀时压	
	事務 総計に基 事業の進捗	づく (20)		真測量事業	継続・ 新規	継続	事務法定自治	事業コード・	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		都市計画			計画課
	総計に基	づく (20)	F度) A	順調である		継続	法定自治	事業コード・自治事務	112-	01-02 担当 H2		課 H30		
2	総計に基事業の進捗	づく 	F度 A を) 羽曳野	環調である 市全域	新規	継続	法定自治	事業コード自治事務事務事業評価	112-(任意のもの)	01-02 担当 H2: 施事業):	最終結果	課 H30 二次	都市	
2	総計に基	づく :状況 ^{(29:}	(を) 羽曳野	順調である	新規	継続	法定 自治 29年度	事業コード・自治事務	112-(任意のもの) (28年度実	01-02 担当 H2: 施事業):	最終結果	洪 出 二次	都市評価対象	京事業
2	総計に基事業の進捗	づく *状況 対象(誰を・何 目的	tg A を) 羽曳野 か) 現在の 毎年の3	環関である 市全域 土地利用状況を正確に把握す エ地利用状況の変化を確認するため、	新規 一る。 市域全域の航空写	具撮影を行	法定自治 29年度	事業コード 自治事務 事務事業評価 総合評価 今後の方向性 総事業費	112- (任意のもの) (28年度実) 改善して8	01-02 担当 H2 施事業) : 接続 各視点	最終結果	課 H ³⁰ 二次 当性 有 A 初)予算額	都市評価対象 効性 A 30年度	効率性
2	総計に基事業の進捗	が 大況 (29: 対象(誰を・何 目的 (どうしたいの	F度 A を) 羽曳野 現在の 毎年の3 い、航空	順調である 市全域 土地利用状況を正確に把握す	新規 -る。 市域全域の航空写成する。作成した航空	具撮影を行 空写真は、固	法定自治 29年度	事業コード 自治事務 事務事業評価 総合評価・ 今後の方向性	112- (任意のもの) (28年度実) 改善して#	01-02 担当 H2 施事業);	最終結果 妥 タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ	課 H30 二次 当性 有 A M)予算額 6,646	都市評価対象 効性	京事業 効率性
2	総計に基事業の進捗	づく (大況 (29: 対象(誰を・何 目的 (どうしたいの 手段	F度 A を) 羽曳野 現在の 毎年の3 い、航空	環調である 市全域 土地利用状況を正確に把握す 上地利用状況の変化を確認するため、 写真図及びデジタルオルソ画像を作	新規 -る。 市域全域の航空写成する。作成した航空	具撮影を行 空写真は、固	法定自治 29年度	事業コード 自治事務 事務事業評価 総合評価 今後の方向性 総事業費 うち市負担額	112- (任意のもの) (28年度実) 改善して#	01-02 担当 H2 施事業) : 態続 各視点 度決算額 5,310	最終結果 妥 タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ	課 H30 二次 当性 有 A M)予算額 6,646	都市評価対象 対性 A 30年度 実施の	効率性
2	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	づく (大況 (29: 対象(誰を・何 目的 (どうしたいの 手段	を) 羽曳野 か) 現在の ロい、航空 に、航空 を) 現在の	環調である 市全域 土地利用状況を正確に把握す 上地利用状況の変化を確認するため、 写真図及びデジタルオルソ画像を作	新規 -る。 市域全域の航空写成する。作成した航空	具撮影を行 空写真は、固	法定自治 29年度	事業コード 自治事務 事務事業評価 総合評価 今後の方向性 総事業費 うち市負担額	112- (任意のもの) (28年度実) 改善して新 28年	01-02 担当 H2 施事業) : 態続 各視点 度決算額 5,310	最終結果 妥 タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ タ	課 H30 二次 当性 有 A M)予算額 6,646	都市評価対象 対性 A 30年度 実施の	効率性
2	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	対象(誰を・何 対象(誰を・何 目的 (どうしたいの 事業内容	を)羽曳野 加 現在の 毎年の3 に、航空 定資産和 る。	市全域 立土地利用状況を正確に把握す 正地利用状況の変化を確認するため、 写真図及びデジタルオルソ画像を作 の原統対象となる家屋・土地の賦課	新規 -る。 市域全域の航空写成する。作成した航空	具撮影を行 空写真は、固	法定自治 29年度	事業コード 自治事務 事務事業評価 総合評価 令後の事費担額 単位:	112- (任意のもの) (28年度実) 改善して新 28年	11-02 担当 ⁺² 施事業); 進続 各視点 5,310 01-03	最終結果 妥 点からの評価 29年度(当) (当性 有 A (5) (4) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6	都市評価対象 効性	効率性
	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	対象(誰を・何 対象(誰を・何 (どうしたいの 事業内容 る事業名 が状況 (29:	を)羽曳野 現在の 毎年前空産 原産	環調である 市全域 土地利用状況を正確に把握す 土地利用状況の変化を確認するため、 写真図及びデジタルオルソ画像を作 党の課税対象となる家屋・土地の賦課 告物許可等事務事業	新規 - る。 - 市塚全域の航空写成する。作成した館における状況確認に 維続・新規	具撮影を行 空写真は、固 も活用してい	法自治 度	事業コード 自治事務 事務事業評価 総合評価 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	112 (任意のもの) (28年度実 改善して8 28年	11-02 担当 H2 整続 各視点 度決算額 5,310 5,310 01-03	最終結果	選果 +130 当性 有 A 初)予算額 6,646 6,646)	都市評価対象 効性	次事業 効率性 A 実施
2	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要 事務 総計に基 事業の進捗	づく 状況 (29 対象(誰を・何 (どうしたいの (をうしたいの (事業)内容 対象(誰を・何 (29 対象(28) 対象(28)	を)羽曳野 現在の 毎に資産 A を)羽曳野 現在の 毎に資産 A 上海 A 上海 A 大阪府	東調である 市全域 土地利用状況を正確に把握す 土地利用状況の変化を確認するため、 「写真図及びデジタルオルソ画像を作 成の課税対象となる家屋・土地の賦課 告物許可等事務事業 「職員である 「を表示・設置しようとする事業・ 「屋外広告物条例に基づき、屋	新規 「る。 「市頭全項の航空写成する。作成した航空における状況確認にはなける状況確認にはなける状況を認いない。 継続・新規 者、市民等 外広告物の申請	具撮影を行 空写真は、固 も活用してい 継続	法自治 29年度 事務 法自治 29年度	事業コード 自治事務 総合評価・総合評価・総合評価・総合課価・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	112- (任意のもの) (28年度実 改善してま 28年 FPI (112- 義務的なもの)	11-02 担当 H2 推美); 连续 各視点	最終結果 29年度(当・)) (都市計画 最終結果 妥 妥 妥 番	 二次 当性 有 A 初)予算額 6,646 6,646 7 6,646 7 7 2 3 4 5 6 7 6 7 7 8 9 9<!--</td--><td>都市 評価対象 効性 A 30年度 反対 方向性 都市</td><td>次事業 効率性 A 実施</td>	都市 評価対象 効性 A 30年度 反対 方向性 都市	次事業 効率性 A 実施
	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	対象(誰を・何 対象(誰を・何 (どうしたいの 事業内容 る事業名 が状況 (29:	を 羽曳野 現在の に 大適産利 上 な 大 適産利 かい がい がい かい かい で かい た ち かい	市全域 立土地利用状況を正確に把握す 正地利用状況の変化を確認するため、 写真図及びデジタルオルソ画像を作 がの解析対象となる家屋・土地の賦課 告物許可等事務事業 環調である を表示・設置しようとする事業・	新規 -る。 - 市域全域の航空写成する。作成した航空域の航空写像における状況確認に 継続・新規 者、市民等 外広告観の形成や	具撮影を行 空写真は、固 も活用してい 継続	法自治 29年度 (事業コード 自治事務 事務事業評価 総合評価 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	112- (任意のもの) (28年度実 改善して8 28年 (112- 義務的なもの) (28年度実	11-02 担当 H2 推美); 连续 各視点	最終結果	 二次 当性 有 人 初)予算額 6,646 6,646 7 3 4 5 5 6 7 8 9 9	都市 評価対象 30年度 の実施向性 都市 評価対象	次事業 効率性 A 実施 計画課
	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要 事務 事務事業の 事務事業の	づく 対象(誰を・何 (どうしたいの 手段 等業名 対象(誰を・何 (どうしたいの が事業名 対象(誰を・何 は変えない。)	を 羽曳野 現在の 加速	本・主地利用状況を正確に把握する は、一生地利用状況を正確に把握する に地利用状況の変化を確認するため、 に写真図及びデジタルオルソ画像を作 の課税対象となる家屋・土地の誤課 佐物許可等事務事業 「環境である を表示・設置しようとする事業・ 屋外広告物条例に基づき、屋管理を進めることにより、良好	新規 「る。 「市域全域の航空写成する。作成した航空における状況確認に を表現した。 を表現したる を表現した。 を表現した。 を表現した。 を表現した。 を表現した。 を表現した。 を表現した。 を表現した。 を表現した。 を表現した	具撮影を行空写真は、固 でも活用してい 継続 手続き等の 風致を維持	法自 度	事業コード 自治事務 総合評価向性 総合の方典担位: 事業コード 自治事務 事務事業評価 総合評価	112- (任意のもの) (28年度実 改善して8 28年 (112- 義務的なもの) (28年度実 現状維 28年	11-02 担当 H2 推美); 连续 各視点	最終結果	課 +130 当性 有 A 初)予算額 6,646 6,646)	都市 評価対象 効性	次事業 効率性 A 実施 計画課 効率性

				1	1												
本事業名	地域の特	性を活かし	たまちづくり						<u>+</u>)	市域							
基本事業 コード	11:	2-02								地域ご	との計画・方は	針に沿っ	た整備を	推進する			
次羽曳野市総	合基本計画	画					(どうした	こしいの	つか)	25-20	_0711 [2]	E(1C/L) 3	7-1E IM C.	ieze / u	0		
策目標									指	標名		単位					32年度 1標(総計)
策の方向	2 良如	好な市街地	の形成														
きづくりの	_ ,,,				目標	指標											
略																	
	(0)	八口減少	「の治力と成文に同けん	こようしくり													
事務	事業名	地区	計画にかかる運用・調	整事務事業				事	務事業	ミコード	112-0	2-01					
		29年度)	順調である			継続・ 新規	継続	法自	定· 自治	自治事務(着	義務的なもの)	担当 H2	9 都	市計画課	: P	430 都市	計画課
	対象(誰を・	・何を) 羽曳	野市全域		•	•		29年	度事務	事業評価	(28年度実施	事業):	最終結果			二次評価対	東事業
	目的		4-14 1.1	4- V - 4-1-		···			総	今評価・	=== 1 h				性	有効性	効率性
事務事業の概要			の特性にふさわしい	封亚みを計画	的に誘	導する。					現状維持	各視点	気からの評値	A	١.	Α	Α
	手段										28年月						rts.+tr
		皮) 天に		っつくりを進め	て行くだ	こめに地	达計 画制		(75		H (,		実施
	基本事業 コード 次羽曳野市総 策 策 策 で で で で で で で で で の 方向 ちづくりの い の い き い き い き い き い き い き い き い き い	基本事業	 基本事業コード カード 大羽曳野市総合基本計画 (策目標 1 快適でうるおしま) (策 1 土地利用・市省 (策の方向 2 良好な市街地 (三)だれもが安(3)人口減少・ 事務事業名 株路 (29年度) 本業の進捗状況 (29年度) 事務事業の (どうしたいのか) 板要 事務事業の (どうしたいのか) 反域 事務事業の (どうしたいのか) 反域 	 基本事業 コード 112-02 次羽曳野市総合基本計画 策目標 1 快適でうるおいのある住みよいまち 策 1 土地利用・市街地整備 策の方向 2 良好な市街地の形成 ちづくりの (1)羽曳野の資源を活かしたまちづく(2)だれもが安心・安全に暮らせるまた (3)人口減少下の活力と成長に向けた 事務事業名 地区計画にかかる運用・調整計に基づく事業の進捗状況 (20年度 対別曳野市全域 事務事業の (どうしたいのか) 区域の特性にふさわしい機要 (どうしたいのか) 区域の特性にふさわしい機要 (どうしたいのか) 日本 (などりの基本的な方面をは (またばり) 基本的な方面を (などりの基本的な方面を (などりのようなどう) (などりのようなどう) (などうしょうなどう) (などうる) (などうなどうる) (などうなどうなどうなどうなどうなどうなどうなどうなどうなどうなどうなどうなどうな	112-02 次羽曳野市総合基本計画 1 快適でうるおいのある住みよいまち 1 土地利用・市街地整備 1 1 1 1 1 1 1 1 1	基本事業	基本事業	本事業	本事業	本事業	本事業	本事業	本事業	本事業	本事業	本事業	112-02 基本事業

		<u> </u>			4.1								
基	本事業名	開発・建築制度	の適正な運用			†象 •何を)	市民等						
į	基本事業	112-03		基本事業の 概要									
	コード			(似安		的 :いのか)	良好な都	『市環境の整備	#を促進	する。			
	欠羽曳野市総												
	策目標 策		るおいのある住みよいまち 月・市街地整備			指机	票名		単位	H28.4時点 現状値(総計)		年度	32年度 目標(総計)
	水 策の方向		5街地の形成	総合基本計画						SERVIE (4011)		Cisc	LID (WOUL)
末	ちづくりの		野の資源を活かしたまちづくり	目標指標									
	略		もが安心・安全に暮らせるまちづくり 減少下の活力と成長に向けたまちづくり	J									
				, I						7			
	事務	務事業名	建築確認・指導等事務事業			事務事業	コード	112-03-	-01				
	総計に基事業の進捗		A 順調である	継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治事務(義君	務的なもの) 担	当 H29	建築指導	課	H30 建	築指導課
	デベッル形	対象(誰を・何を)	建築物の建築等の行為(建築主、	471720	等·申請手		事業評価 (28年度実施事	(業) 是:	終結里		二次評価対	金 事業
1		NOW CHECK PICA	続き等建築基準法の遵守)					20千及天池子	1		妥当性	有効性	効率性
	事務事業の	目的 (どうしたいのか)	市民の生命、健康及び財産の保護 増進に資することを目的とする。	を図り、もって公共	の福祉の		合評価・ の方向性	現状維持	各視点が	2 4 57 57	A	A	A
	概要		建築確認において市への事前調査	5制度(確認経由業	路) 許認		事業費	28年度2	等額	29年度(当			
		手段 (事業内容)	可においては事前協議制度で交通				有担額)	- 3	3,051	20 1 12 ()	35,576	実施の	実施
			上の観点から指導に勤める。				単位:千円	11 (2	8.402) [(31,800) 方向性	
							十四.111		,	/ [\	01,000	7 231312	
	事務	· · · · · · · · · · · · · ·	建築審査会運営事務事業			事務事業				7	01,000	7	<u> </u>
		8事業名	建築客査会運営事務事業	継続・	Able 6-4	事務事業法定・	コード	112-03-	-02		,	7	
	事務 総計に基 事業の進捗	づく / 20/年度	A 順間である	継続· 新規	継続	25中。	コード		-02	監察室	,	нзо	監察室
	総計に基	づく / 20/年度	A 順調である 建築基準法の施行に関する重要事	新規		法定·自治	コード 自治事務(義系	112-03-	- 02 旦当 _{H29}		,	H30	
2	総計に基事業の進捗	づく 状況 (29年度 対象(誰を・何を)	A 瞬間である 建築基準法の施行に関する重要事 件の土地及び建築物の所有者 建築審査会は建築基準法第78条に規定さ	新規 事項の調査審議を必 れる特定行政庁から諮	要とする案間に応じて建	法定·自治 29年度事務	コード 自治事務(義系事業評価 (112-03- 務的なもの) 担 28年度実施事	- 02 -1当 H29 - 1業)最	終結果	,		
2	総計に基	づく 状況 (29年度 対象(誰を・何を)	A 順調である 建築基準法の施行に関する重要事件の土地及び建築物の所有者	新規 事項の調査審議を必 れる特定行政庁から諮 審議する機関であり、案	要とする案 問に応じて建 件等が発生し	法定·自治 29年度事務 総合	コード 自治事務(義系	112-03-	- 02 -1当 H29 - 1業)最	終結果	R	二次評価対	象事業
2	総計に基事業の進捗	がく 大況 (29年度 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか)	A 建築基準法の施行に関する重要事件の土地及び建築物の所有者 建築審査会は建築基準法第78条に規定さ 築基準法の施行に関する重要事項を調査 た場合に必要に応じて開催され、重要事項	新規 事項の調査審議を必 れる特定行政庁から諮 審議する機関であり、東 原の判断をすることを目的	要とする案 問に応じて建 件等が発生し りとする。	法定·自治 29年度事務 総合 今後 (コード 自治事務(義和 事業評価 (合評価・ の方向性 事業費	112-03- 務的なもの) 担 28年度実施事	- 02 	終結果	妥当性 A (新初)予算額	二次評価対 有効性 A	象事業 効率性 A
2	総計に基事業の進捗	づく ・状況 (29年度 対象(誰を・何を)	A 収調である 建築基準法の施行に関する重要事件の土地及び建築物の所有者 建築審査会は建築基準法第78条に規定さ 乗基準法の施行に関する重要事項を調査	新規 耳頂の調査審議を必 れる特定行政庁から諮 審議する機関であり、家 原の判断をすることを目的 委員で構成され、重	要とする案 問に応じて建 件等が発生し りとする。	法定·自治 29年度事務 総合 今後 (コード 自治事務(義和 事業評価 (合評価・ の方向性 事業費 物質担額)	112-03- 務的なもの) 技 28年度実施事 現状維持 28年度2	- 02 - 1当 H29 - 1	終結果	· 妥当性	二次評価対 有効性	象事業 効率性
2	総計に基事業の進捗	が 状況 (29年度 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか)	A 収調である 建築基準法の施行に関する重要事件の土地及び建築物の所有者 建築審査会は建築基準法第78条に規定さ 委基準法の施行に関する重要事項を調査 た場合に必要に応じて開催され、重要事項 当市における建築審査会は7名の意	新規 耳頂の調査審議を必 れる特定行政庁から諮 審議する機関であり、家 原の判断をすることを目的 委員で構成され、重	要とする案 問に応じて建 件等が発生し りとする。	法定·自治 29年度事務 総合 今後 (コード 自治事務(義和 事業評価 (合評価・ の方向性 事業費	112-03- 務的なもの) 技 28年度実施事 現状維持 28年度2	-02 当当 H29 名視点が 本算額 9,990	終結果	妥当性 A (初)予算名 11,026	二次評価対 有効性 A 30年度 実施の	象事業 効率性 A
2	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	が 状況 (29年度 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか)	A 収調である 建築基準法の施行に関する重要事件の土地及び建築物の所有者 建築審査会は建築基準法第78条に規定さ 委基準法の施行に関する重要事項を調査 た場合に必要に応じて開催され、重要事項 当市における建築審査会は7名の意	新規 耳頂の調査審議を必 れる特定行政庁から諮 審議する機関であり、家 原の判断をすることを目的 委員で構成され、重	要とする案 問に応じて建 件等が発生し りとする。	法定·自治 29年度事務 4	コード 自治事務(義科 事業評価 (合評価・ の方向性 事業費 f負担額) 単位:千円	112-03- 務的なもの) 技 28年度実施事 現状維持 28年度2	- 02 書当 H29 各視点が 各視点が 9 ,990 9 ,990	終結果	妥当性 A (初)予算名 11,026	二次評価対 有効性 A 30年度 実施の	象事業 効率性 A
2	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	が 対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容)	A 関調である 建築基準法の施行に関する重要事件の土地及び建築物の所有者 建築審査会は建築基準法第78条に規定さ 委基準法の施行に関する重要事項を調査 た場合に必要に応じて開催され、重要事項 当市における建築審査会は7名の 判断は出席者の過半の賛成を以っ	新規 事項の調査審議を必 れる特定行政庁から踏 審議する機関であり、案 (の判断をすることを目的 委員で構成され、重 ででである。	要とする案 問に応じて建 件等が発生し りとする。	法定・ 自治 29年度事務 総合 今後(があった) 事務事業 法定・	コード 自治事務(義和 事業評価 (合評価・ の方向性 事業費 所負担額) 単位:千円	112-03- 際的なもの) 担 28年度実施事 現状維持 28年度》	-02 1当 H29 4 表	終結果	至 A (4初)予算8 11,026	二次評価対 有効性 A 30年度 実施の 方向性	象事業 効率性 A
2	総計に基 事業の進樹 事務事業の 概要	が 対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容)	A 環境である 建築基準法の施行に関する重要事件の土地及び建築物の所有名 建築審査会は建築基準法第78条に規定さ 築基準法の施行に関する重要事項を調査 た場合に必要に応じて開催され、重要事項 当市における建築審査会は7名の言 判断は出席者の過半の賛成を以っ	新規 事項の調査審議を必 れる特定行政庁から豁 審議する機関であり、案 の判断をすることを目的 委員で構成され、重 で同意される。	要とする案間に応じて建作等が発生しいとする。要事項の	法定· 自治 29年度事務 会後((うちず 事務事業 法定治	コード 自治事務(義和 年本) 自治事務(義和 年本) 自治事務(義和 年本) 自治事務(義和 自治事務(義和 自治事務(義和 自治事務(義和 年本) 自治事務(義和 日本) 自治事務(表祖 日本) 自治事(表祖 日本) 自治(表祖 日本) 自治(知 日本)	112-03- 際的なもの) 担 28年度実施事 現状維持 28年度 (112-03- 際的なもの) 担	-02	終結果	至 A (4初)予算8 11,026	二次評価対 有効性 A 30年度 実施の 方向性	象事業 効率性 A 実施
2	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	が 対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 手段 (事業内容)	A 環題である 建築基準法の施行に関する重要事件の土地及び建築物の所有者 建築審合会は建築基準法第78条に規定さ 築基準法の施行に関する重要事項を調査 た場合に必要に応じて開催され、重要事項 当市における建築審査会は7名の 判断は出席者の過半の賛成を以つ 開発許可・指導等事務事業 A 環題である 開発行為等を行おうとする事業者等	新規 事項の調査審議を必 れる特定行政庁から路 審議する機関であり、案 の判断をすることを目的 委員で構成され、重 ので同意される。	要とする案間に応じて建件等が発生しかとする。要事項の継続	法定· 自治 29年度事務 会後((うちず 事務事業 法定治	コード 自治事務(義和 年本) 自治事務(義和 年本) 自治事務(義和 年本) 自治事務(義和 自治事務(義和 自治事務(義和 自治事務(義和 年本) 自治事務(義和 日本) 自治事務(表祖 日本) 自治事(表祖 日本) 自治(表祖 日本) 自治(知 日本)	112-03- 務的なもの) 技 28年度実施事 現状維持 28年度2	-02	終結果 29年度(当) (建築指導 終結果	E E E E E E E E E E E E E E	二次評価対 有効性 A 30年度 実施の う向性 二次評価対 建 二次評価対	象事業 効率性 A 実施
	総計に基 事業の進材 事務事業の 概要 事務事業の 総計に基 事業の進材	対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 手段 (事業内容) (29年度 対象(誰を・何を)	A 関係である 建築基準法の施行に関する重要事件の土地及び建築物の所有者 建築審査会は建築基準法第78条に規定さ 素基準法の施行に関する重要事項を調査 た場合に必要に応じて開催され、重要事項 当市における建築審査会は7名の 判断は出席者の過半の賛成を以つ 開発許可・指導等事務事業 A 顕版である 開発行為等を行おうとする事業者等 都市計画法令を遵守するよう指導するとと	新規 事項の調査審議を必 れる特定行政庁から諮 審議する機関であり、案 仮判断をすることを自 委員で構成され、重 で同意される。 継続 新規 継続 新規	要とする案間に応じて建作等が発生しかとする。要事項の継続	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	コード 自治事務(義寿 事業評価 (かた) (かた) (かた) (かた) (かた) (も) (かた) () () () () () () () () () (112-03- 務的なもの) 担 28年度実施事 現状維持 28年度芝 (112-03- 務的なもの) 担 28年度実施事	-02 1当 H29 各視点力 各視点力 -03 1当 H29	終結果 29年度(当) (建築指導 終結果	A (新初) 予算を 11,026 11,026 11,026	- 二次評価対 有効性 A 30年度 実施の 方向性	象事業 効率性 A 実施 差指導課 象事業 効率性
	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要 事務 事務 事務 事務 事務 事務 事務 事務	が 対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) 目的 (どうしたいのか) 手段(事業内容) 本業名 対象(誰を・何を)	A 環題である 建築基準法の施行に関する重要事件の土地及び建築物の所有者 建築審合会は建築基準法第78条に規定さ 築基準法の施行に関する重要事項を調査 た場合に必要に応じて開催され、重要事項 当市における建築審査会は7名の 判断は出席者の過半の賛成を以つ 開発許可・指導等事務事業 A 環題である 開発行為等を行おうとする事業者等	新規 事項の調査審議を必 れる特定行政庁から諮 審議する機関であり、案 仮判断をすることを自 委員で構成され、重 で同意される。 継続 新規 継続 新規	要とする案間に応じて建作等が発生しかとする。要事項の継続	Table Tab	コード 自治事務(義和 事業評価 (112-03- 務的なもの) 挂 28年度実施事 現状維持 28年度% ((112-03- 務的なもの) 挂 28年度実施事	-02 1当 H29 (文字) 最 -03 -03 -03 -03 -03 -03	終結果	A A (新初) 予算8 11,026 11,026		象事業 効率性 A 実施
	総計に基 事業の進材 事務事業の 概要 事務事業の 総計に基 事業の進材	対象(誰を・何を) 対象(誰を・何を) (どうしたいのか) 手段 (事業内容) (29年度 対象(誰を・何を)	A 関係である 建築基準法の施行に関する重要事件の土地及び建築物の所有者 建築審査会は建築基準法第78条に規定さ 素基準法の施行に関する重要事項を調査 た場合に必要に応じて開催され、重要事項 当市における建築審査会は7名の 判断は出席者の過半の賛成を以つ 開発許可・指導等事務事業 A 顕版である 開発行為等を行おうとする事業者等 都市計画法令を遵守するよう指導するとと	新規 事項の調査審議を必 れる特定行政庁から諮審議する機関であり、案 の判断をすることを目的 委員で構成され、重 ので構成される。 #経続・新規 等 もに、本市の良好な都市 い一定の基準をもって 目的とする こ関する基準等を定	要とする案間に応じて建作等が発生しかとする。要事項の	法定・	コード 自治事務(義寿 事業評価 (かた) (かた) (かた) (かた) (かた) (も) (かた) () () () () () () () () () (112-03- 際的なもの) 担 28年度実施事 現状維持 28年度 ((112-03- 際的なもの) 担 28年度実施事	-02 1当 H29 (文字) 最 -03 -03 -03 -03 -03 -03	終結果 29年度(当) (建築指導 終結果	A A (新初) 予算8 11,026 11,026	二次評価対 有効性 A 30年度 方向性	象事業 効率性 A 実施 差指導課 象事業 効率性

性化を図る。 H28.4時点 29年度 32年度 現状値 (総計) 実績 目標 (総計)
H28.4時点 29年度 32年度 現状値(総計) 実績 目標(総計)
現状値(総計) 実績 目標(総計)
現状値(総計) 実績 目標(総計)
20,189 21,039 24,00
都市計画課 H30 都市計画課
終結果 二次評価対象事業
妥当性 有効性 効率性
Mison評価 A A A
29年度(当初)予算額 4,588 実施の 実施
) (-6,377) 方向性
<u> </u> 都市計画課 <mark>н∞ 都市計画課</mark>
終結果 二次評価対象事業
妥当性 有効性 効率性
M A A A
29年度(当初)予算額 30年度 2,298 実施の 実施
) (-2,026) 方向性
終結果
妥当性 有効性 効率性
gat that are
からの評価 A A B
,

ā	基本事業名	羽曳!	野らしい景	観形成				対 (誰を	象 ·何を	<u>ŧ</u>)	市域							
	基本事業 コード		121-01				本事業の 概要	目	的		田山姿式	€や自然等を済	∓⊞! +	- At +1 6/1 *>	早知べハ	1七./日.省	± -± z	
第 6	次羽曳野市約	後合基ス	本計画					(どうした	<u>ال</u> ال)か)	延丈貝店	E 7 日 公 寺 で /	占用した	こをりりな	泉既ノい	アを促進	≝9°చం	
	拖策目標	1		るおいの	ある住みよいまち					指机	票名		単位	H28.4F 現状値(29年月		32年度 目標(総計)
	^{拖策} ^{拖策の方向}	2	住環境 景観形成	の但准		60. 4								現仏胆(RSAT/	天将	₹ ⊨	は保(WeiT)
<u>,,,</u>	也束の方向	0			原を活かしたまちづくり		基本計画 標指標											
	まちづくりの	\vdash		-, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -, -	Rを占かしによらってり い・安全に暮らせるまちづくり	- "	1 录 1 日 1 录											
単	线略	<u> </u>				_												
			(3)人口	減少下0	D活力と成長に向けたまちづくり										l.			
	事	务事業	名	景観地	区認定・景観計画届出事務事業				事	務事業	コード	121 - 01	-01					
	総計に基事業の進		(29年度)	A	順調である		継続・ 新規	継続	法自	定· 自治	治事務(義	務的なもの)担	3当 H29	都市	計画課	Н30	都市	計画課
1		対象(誰を・何を)	市民・≀	事業者				29年	度事務	事業評価 (28年度実施事	業)	最終結果		=	次評価対象	象事業
l '			目的	市民、	事業者等に景観形成の重要性	を認識	してもらう	ことにより、	l	40 A	評価・				妥当性	ŧ	有効性	効率性
	事務事業の 概要	(どうし	ナー(いのか)	の、良	ቐ市のもつ豊かな自然や風土を∙ 好な景観を創造し、又は保全す	る。					カ方向性	現状維持	各視点		Α		Α	Α
			手段		地区の各地区内において、提出						事業費	28年度2		29年	度(当初)う		30年度	
			于段 (業内容)		定証の交付を行う。景観計画の			いて、提出		(うちす	5負担額)		2,215		2,2		実施の	実施
				のあっ	た届出の内容を審査し適合の迫	通知を行	ゔう。				単位:千円	(2,215) (2,2	222)	方向性	

							_												
i	基本事業	美名	安心で	きる住環	境の確	保			対 (誰を [.]		を)	市民							
	基本事業 コード			122-01				事業の 概要		的		安心。	て安全に生活で	きると	シニオス				
第6	次羽曳野	野市総合							(どうした	いい	のか)	у.b.с.	マエにエルで		71-9-00				
	施策目標 施策	Ē		快適でうる 住環境	るおいσ.	Dある住みよいまち					指	票名		単位	H28.4時 現状値(総		29年度 実績		32年度 票(総計)
	_{匹衆} 施策の方	市			あな住る	環境の促進	w.	基本計画							SUNTE (MC	PRI /	大根	ш	# (MODI)
E						源を活かしたまちづくり		整本計画 標指標											
	まちづくり 戦略	りの				ン・安全に暮らせるまちづくり	1 "												
4	找叫台			(3)人口	减少下(の活力と成長に向けたまちづくり													
		事務	事業名	i	民間強	美物耐震化促進事業				Julia	事務事業	コード	122-01-	-01					
		計に基づ		(29年度)	Α	順調である		継続・ 新規	継続	<i>i</i> /2 —	法定・ 自治	自治事務(1	任意のもの) 担	担当 H29	監	察室	H30	住宅政策	策推進室
1			対象(計	誰を・何を)	昭和5	6年5月31日以前に建築されたオ	造住年	この所有	格	294	年度事務	事業評価	(28年度実施事	業)量	最終結果		二次訂	呼価対象	事業
١.			Е			生が不足している市内の既存民					44 4	う評価・				妥当性	有交	性	効率性
		事業の H要		たいのか)		余却を促進し、地震災害による市 或を図ることを目的とする。	内の人	、的·経済	的な被害			の方向性	20211211		からの評価	Α	E	3	Α
						物の耐震化又は除却にかかる啓)促進のための補助金交付。	発及び	情報提供	・、並びにそ			事業費 市負担額) 単位:千f		英算額 24,321 15,859	29年度	E(当初)予算 33,640 19,860	美	年度 施の 向性	実施

		1													
基	本事業名	市営住宅の管	理運営				∤象 •何を)	ī	市営住	宅					
ā	基本事業	123-0	1		基本事業の										
	コード	120 0	'		概要	目 (どうした	的 -いのか	,, ,	耐震化等	等を計画的に	推進する	るとともに、適	正な管理	里運営を図る	•
第6	欠羽曳野市総	合基本計画				(2)0/.	_0 -07/3	.,							
	策目標 策	1 快適で 2 住環境	うるおいの	ある住みよいまち				指標名	ž		単位	H28.4時 現状値(総		29年度 実績	32年度 目標(総計)
	<u>ェ</u> 策の方向		主宅の再		総合基本計画	市営住宅耐	事 // - 本				%		41.0	41.0	56.0
ŧ	ちづくりの			京を活かしたまちづくり	目標指標	中呂往七刪.	辰16年				9/0		41.0	41.0	36.0
	略			安全に暮らせるまちづくり活力と成長に向けたまちづくり											
H			1			ı	1						ı	l	
		事業名	市営住	宅管理事務事業 				事業コー	ード	123-0	1-01				
	総計に基 事業の進捗		B	概ね順調である	継続・ 新規	継続	法定 自治		台事務(化	壬意のもの)	担当 H25	建築信	主宅課	H30 住与	它政策推進室
		対象(誰を・何を) 低所得	 者で住宅に困窮している方。	•		29年度	事務事業	業評価	(28年度実施	事業)	最終結果		二次評価	対象事業
1		目的						総合詞	T /# -		7		妥当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要	(どうしたいのか	入居者	が安心・安全な生活を送れるよ	うにする。		-	今後のフ		現状維持	各視点	からの評価	Α	Α	Α
	177.54	手段	住字設	推集の維持管理委託を行うこと	で専門性の高し	1業者によ		総事業		28年月	を決算額	29年度	(当初)予	00 /	
		(事業内容)		等が行われ、安心・安全な生活				(うち市賃	●担額) 単位:千F	4	42,834 42.834) (34,25 34,25	24/00-	
		•									_				
			1				1								
	事務	事業名	市営住	宅ストック総合改善事業			事務	事業コ-	− ド	123-0	1-02				
	事務 総計に基 事業の進捗	づく	1	宅ストック総合改善事業 概ね順調である	継続・新規	継続	事務 法定 自治	· p			1-02 担当 H2S	建築住	主宅課	H30 住写	已政策推進室
	総計に基	づく	B		継続・ 新規	継続	法定自治	自治	台事務(化		担当 128		主宅課	上次評価	
2	総計に基事業の進捗	づく 状況 (29年) 対象(誰を・何を	B 市営向	概ね順調である 野各住宅 野各住宅の未改善棟について東住宅影	新規 は地での集約建替え	を中長期的な	法定自治	事務事業	台事務(任業評価	壬意のもの)	担当 128	最終結果	主宅課 妥当性		
2	総計に基	づく :状況 (29年)	おおります。	概ね順調である 野各住宅	新規 取地での集約建替え 造住宅の用途廃止:	を中長期的な	法定自治29年度	自治	台事務(f	壬意のもの)	担当 128			二次評価	対象事業
2	総計に基事業の進捗	が 大況 (29年) 対象(誰を・何を 目的 (どうしたいのか 手段	市営向里 計画に基本 東単位	概ね順調である 野各住宅 野各住宅の未改善棟について東住宅影をづき行う。また、耐用年数を超えた木に売却し基金に積み立て、この事業の影の改善から未改善棟の集約建	対地での集約建替え 造住宅の用途廃止 対源として活用する。 替えに移行を行	を中長期的なをすすめ、住	法定 自治 29年度	事務事業総合評令後のフ	台事務(f 業評価 平価・ 方向性	壬意のもの) (28年度実施 改善して継 28年月	担当出等。	最終結果	妥当性 B	二次評価 有効性 A	対象事業 対率性 人
2	総計に基事業の進捗	対象(誰を・何を 目的 (どうしたいのか	市営向里 計画に基本 東単位	概ね順調である 野各住宅 野各住宅の未改善棟について東住宅影 まづき行う。また、耐用年数を超えた木; 売却し基金に積み立て、この事業の見	対地での集約建替え 造住宅の用途廃止 対源として活用する。 替えに移行を行	を中長期的なをすすめ、住	法定 自治 29年度	・ 事務事業 総合評 今後のフ 総事業 (うち市賃	台事務(f 業評価 平価・ 方向性	王意のもの) (28年度実施 改善して継 28年月	担当 日25	最終結果	妥当性	二次評価 有効性 A 算額 4	対象事業 効率性 A 変 実施
2	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	が状況 (29年) 対象(誰を・何を 目的 (どうしたいのか 手段 (事業内容)	B 市営向 市営向里 市営の基金 東単位 所の選	概ね順調である 野各住宅 野各住宅の未改善棟について東住宅影をつき行う。また、耐用年数を超えた木。 売却し基金に積み立て、この事業の東の改善から未改善棟の集約建定と対象入居者へのアンケート	対地での集約建替え 造住宅の用途廃止 対源として活用する。 替えに移行を行	を中長期的なをすすめ、住	法定 自治 29年度	・ 自治 総合評 総合評 総合評 総合計 を後のフ 総事事(うち市負	台事務({ 業評価 平価・ 方向性 費類額) 単位:千月	主意のもの) (28年度実施 改善して継	担当 H25 未表 (1) 表 (1) 表 (2) 和 (2) 表 (2) 和 (2) 表 (2) 表 (2) 表 (2) 和 (最終結果	妥当性 B (当初)予:	二次評価 有効性 A 算額 4	対象事業 効率性 A 変 実施
2	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	対象(誰を・何を 目的 (どうしたいのか 事業内容)	B 市営向 市営向里 市営の基金 東単位 所の選	概ね順調である 野各住宅 野各住宅の未改善棟について東住宅影をづき行う。また、耐用年数を超えた木に売却し基金に積み立て、この事業の影の改善から未改善棟の集約建	新規 は地での集約建替え 造住宅の用途廃止 対源として活用する。 替えに移行を行 ・の実施。	を中長期的なをすすめ、住	法定治29年度	・ 自治 総合語 総合語 今後の7 総事事(うち市負	台事務(名 業評価 平価・ 方向性 費類額) 単位:千月	王意のもの) (28年度実施 改善して継 28年月	担当 H25 未表 (1) 表 (1) 表 (2) 和 (2) 表 (2) 和 (2) 表 (2) 表 (2) 表 (2) 和 (最終結果	妥当性 B (当初)予:	二次評価 有効性 A 算額 4	対象事業 効率性 A 変 実施
2	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	が状況 (29年) 対象(誰を・何を 対象(誰を・何を (どうしたいのか 手段 (事業内容)	B 市営向 市営向 を	概ね順調である 野各住宅 野各住宅の未改善棟について東住宅影をつき行う。また、耐用年数を超えた木。 売却し基金に積み立て、この事業の東の改善から未改善棟の集約建定と対象入居者へのアンケート	対地での集約建替え 造住宅の用途廃止 対源として活用する。 替えに移行を行	を中長期的なをすすめ、住	法定 自治 29年度	・ 自治 解事務事事 総合門 総事事件 (うち市員	台事務(代 業評価・ 中価・性 業費額) 単位:干F	王意のもの) (28年度実施 改善して継 28年月 (123-0	担当 H25 未表 (1) 表 (1) 表 (2) 和 (2) 表 (2) 和 (2) 表 (2) 表 (2) 表 (2) 和 (長終結果 29年度) (妥当性 B (当初)予; 72,89 72,19	二次評価 有効性 A 算額 (4 実施の) 方向性	対象事業 効率性 A 変 実施
	総計に基事業の進捗 事務事業の 概要	が状況 (29年) 対象(誰を・何を 対象(誰を・何を (どうしたいのか 手段 (事業内容)	市営向の利用を表現しています。	概ね順調である 野各住宅 野各住宅の未改善棟について東住宅影をづき行う。また、耐用年数を超えた木。 売却し基金に積み立て、この事業の集の改善から未改善棟の集約建定と対象入居者へのアンケート 宅運営事務事業	新規 は地での集約連替え 造住宅の用途廃止 が源として活用する。 替えに移行を行 の実施。	を中長期的なをすすめ、住	法定治 29年度 事務 法自治	・ 自治 事務事事 総合詞 今後のフ 総事事 (うち市負	会事務(f 業評価・ 平価・ 方向性 業費額) 単位:千F	王意のもの) (28年度実施 改善して継 28年月 (123-0	担当 H26 各視点 各視点 217,846 157,499 1-03 担当 H26	最終結果 はからの評価 29年度)(建築化	妥当性 B (当初)予; 72,89 72,19	二次評価 有効性 A 算額 (4 実施の) 方向性	対象事業
2	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要 事務 総計に基 事業の進捗	が 状況 (29年) 対象(誰を・何を 目的 (どうしたいのか 手段 事業内容)	お B 市営 店 市 営 住 A ト 市 営 住	概ね順調である 野各住宅 野各住宅 野各住宅の未改善棟について東住宅影をづき行う。また、耐用年数を超えた木。 売却し基金に積み立て、この事業の集 の改善から未改善棟の集約建定と対象入居者へのアンケート 宅運営事務事業 顧調である 宅の入居者	新規 は地での集約建替え 造住宅の用途廃止 が滅として活用する。 替えに移行を行 の実施。	を中長期的なをすすめ、住い建設場	法定治 29年度 事務 法自治	・ 自治 事務事事 総合詞 今後のフ 総事事 (うち市負	台事務(代業評価・アカード・アカード・アカード・アカード・アカード・アカード・アカード・アカード	王意のもの) (28年度実施 改善して継 28年月 (123-0 王意のもの)	担当 H26 各視点 表決算額 217,846 157,499 1-03 担当 H26 事業) 』	最終結果 29年度) (建築付	妥当性 B (当初)予; 72,89 72,19	- 次評価 有効性 A A 実施の 方向	対象事業 対率性 A 変 実施 実施 対象事業
	総計に基事業の進捗 事務事業の 概要	が 状況 (29年) 対象(誰を・何を 目的 (どうしたいのか 手段 (事業名 対象(誰を・何を 大況 (29年)	・ B 市営向門を表現しています。 おおり ・ 市営の門を表現しています。 ・ 市営住 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	概ね順調である 野各住宅 野各住宅の未改善棟について東住宅影をづき行う。また、耐用年数を超えた木。 売却し基金に積み立て、この事業の集の改善から未改善棟の集約建定と対象入居者へのアンケート 宅運営事務事業	新規 は地での集約建替え 造住宅の用途廃止 が滅として活用する。 替えに移行を行 の実施。	を中長期的なをすすめ、住い建設場	法自治 29年度 基務 法自治 29年度	・ 自治 事務事事 総合計 今後のファッス 総事事 (うち市負 ・ 自治 ・ 事務事事	台事務(代業) 平価・性 学り 単位:千円 一ド 一ド 台事務(代表) 半価・ 一ド 一ド 一片	王意のもの) (28年度実施 改善して継 28年月 (123-0 123-0	担当 H26 各視点 表決算額 217,846 157,499 1-03 担当 H26 事業) 』	最終結果 はからの評価 29年度)(建築化	妥当性 B (当初)予: 72,89: 72,19:	二次評価 有効性 A 30年月 4000 方向付 1300 住写	対象事業 対率性 A 変 実施 実施 実施 対象事業
	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要 事務事業の 事務事業の	が 状況 (29年) 対象(誰を・何を 目的 (どうしたいのか 手段 (事業内容) (29年) 対象(誰を・何を	B 市営向に担当 は	概ね順調である 野各住宅 野各住宅 野各住宅の未改善棟について東住宅影をづき行う。また、耐用年数を超えた木。 売却し基金に積み立て、この事業の集 の改善から未改善棟の集約建定と対象入居者へのアンケート 宅運営事務事業 顧調である 宅の入居者	新規 は地での集約建替え 造住宅の用途廃止 が満たして活用する。 替えに移行を行 の実施。 継続・ 新規 如住宅を適正に 主宅家賃等滞納	を中長期的な をすすめ、住 い建設場 継続 管理する。	法自 29年 李	・ 自治 ・ 自治 ・ 総合のフラット ・ 自治 ・ 総合のフラット ・ 自治 ・ 事業 コー・ ・ 自治 ・ 事務事ま ・ 総合部 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	台事務(代本) 本等(代本) 本等(任本) 和等(任本) 和等(任在) 和	主意のもの) (28年度実施 改善して継 28年度 円 (123-0 任意のもの) (28年度実施 現状維持	担当 H26 各視点 表決算額 217,846 157,499 1-03 担当 H26 事業) 』	最終結果 29年度)(建築任 最終結果	妥当性 B (当初)予 72,89 72,19 t:宅課		対象事業

	基本事業名	空家	対策			対象 (誰を・何を)	空家等				
	基本事業 コード		124-01		基本事業の 概要	目的	適切な管理の促進に。	- U 击 E	この安全を確保す	スレレもに 右効	か活田を図る
穿	6 次羽曳野市総	合基本	k計画			(どうしたいのか)	题 97.3 目 2至07 促延1 C 3	271112	.00 女王と睢床;	2CC 01C(HW)	<i>കമ</i> നുലേയം
	施策目標	-1	快適でうるおい	のある住みよいまち		指標	夕	単位	H28.4時点	29年度	32年度
	施策	2	住環境			****	10	平区	現状値 (総計)	実績	目標(総計)
	施策の方向	4	空家対策		総合基本計画	灾 安		戸	2.650	2.650	2.990
	±+ -2711.00	0	(1)羽曳野の資	源を活かしたまちづくり	目標指標	主 豕蚁		,	2,030	2,000	2,990
	まちづくりの 戦略	0	(2)だれもが安	心・安全に暮らせるまちづくり							
	平太 平古		(3)人口減少下	の活力と成長に向けたまちづくり							

	事務	事業名	空家等效	対策事業			4	務事業		124-0)1-	01				
	総計に基 [・] 事業の進捗		Α	順調である	継続・ 新規	継続	注 E	法定・ 自治	自治事務(化	任意のもの)	担	当 H29	建築	住宅課	H30 住宅i	政策推進室
		対象(誰を・何を)	空家の戸	· 听有者等		-	29年	F度事務	事業評価	(28年度実施	包事	業) 最終	結果		二次評価対	象事業
•	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	市内の領	管理不全な空家を安全に管理が行え	るようにえ	支援する。			合評価・ の方向性	現状維持	寺	各視点から	の評価	妥当性	有効性 B	効率性 A
		手段 (事業内容)	基づく「ジ	年度に実施した空家等実態調査のデ 羽曳野市空家等対策協議会」を設置し 画」を策定。					事業費 市負担額) 単位:千F		1	算額 6,598 1,792)	(度(当初)予算額 12,955 12,955	類 30年度 実施の 方向性	実施

事務事業の 概要

> 手段 (事業内容)

基	本事業名	計画	的な道路整	E備					ˈ象 •何を)	市民等	车						
	基本事業 コード		131-01				事業の 概要		的	利庫	サの白 トトトナバ	115	安全な道路交通	理性のエ	#/早去.网	7 Z	
第6次	欠羽曳野市総	合基:	本計画					(どうした	こいのか)	利(更)	主の向上とともい	-、 より]	女王な坦鉛文理	環境の1	単体で区	10.	
施多	策目標	1	快適でうる	るおいσ.	ある住みよいまち				ŧ!	標名		単位	H28.4時点		9年度	32年月	
施針	策	3	道路·交通	<u> </u>					TE.	1177 10		丰四	現状値 (総計)		実績	目標(総	(計)
施師	策の方向	1	計画的な	道路整	備と維持管理の促進	総合非	基本計画										
	. *		(1)羽曳	野の資源	原を活かしたまちづくり	目相	標指標										
まち戦略	ちづくりの ¤x	0	(2)だれる	しが安心	・安全に暮らせるまちづくり												
半 义叫	PG -		(3)人口	减少下(D活力と成長に向けたまちづくり												
	事務	8事業	名	一般府	道郡戸大堀線歩道整備事業				事務事	業コード	131-01	I - 01					
	総計に基 事業の進捗		(29年度)	Α	順調である		継続・ 新規	継続	法定• 自治	自治事務	(任意のもの)	担当 H2	道路整備推	進室	нзо	道路整備推進	鰘
		対象(誰を・何を)	当該道	路の利用者				29年度事	· 务事業評価	(28年度実施	事業):	最終結果		二次評	平価対象事業	*

総合評価・ 今後の方向性

総事業費 (うち市負担額)

単位:千円

拡充・重点化 各視点からの評価

33,849

В

В

30年度 実施の 方向性 Α

実施

目的 車道拡幅及び歩道整備をし、歩行者等の安全と交通の利便性の 向上を図ることを目的とする。

大阪府との事業協力に係る事務の実施細目についての協定書に 基づき、用地取得のための測量調査業務を行う。また、大阪府と 協力し整備を進める。

							-	.A.								
	本事業名	道路・橋梁の	適切な雑	持管理				· 何を)	道路·橋	梁等						
	基本事業 コード	131-	02			事業の 【 要		的 :いのか)	安全性の	の向上及び長	寿命化	を推進する	とともに	、適切な管	理を図	る。
	欠羽曳野市総		- 7 hi	A + 7 () + 1			(2)01.	_0.00/31/								
施		3 道路・	交通	のある住みよいまち				指	標名		単位	H28.48 現状値(約		29年度 実績	E	32年度 目標 (総計)
	策の方向			備と維持管理の促進 源を活かしたまちづくり	総合基	本計画 指標	長寿命化修	繕計画に基	づく橋梁修	繕数	橋		2		6	22
	ちづくりの 略	O (2) t	れもが安心	ひ・安全に暮らせるまちづくりの活力と成長に向けたまちづくり	IJ											
	事務	8事業名		占有・証明等に関する事務事業				事務事業	業コード	131-02	:-01					
	総計に基 事業の進捗		度) A	順調である		継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治事務(義	務的なもの)	担当 H29	道路	公園課	H30	道路	各公園課
	事未 07年19	対象(誰を・何	を) 市道			471776			务事業評価	(28年度実施	事業)	是 終結果		二次	評価対象	象事業
1	事務事業の	目的	上右:7	市道と民有地との境界確定を図る。 市道の占用申請及び施工許可を行	· 3			総	合評価・	現状維持	久妇占	からの評価	妥当		効性	効率性
	# 概要	(どうしたいの	証明:7	↑這の日所平明及び心エココラフリ 市道の幅員を証明する。 ⋾道の境界確定申請のあった土地につい		付,帰屋,	継ぎ等の重額		の方向性	28年度			A 度(当初)		В	Α
		手段 (事業内容)	を調査し の境界研	ルス・ルー・	関係者と協議の	上、官民境	界確定をし、そ		8事業費 市負担額) 単位:千P		8,489 01,815	29#)		,517	30年度 実施の 方向性	実施
	7 T	to take alle. At						nte 7/2 nte 4	F				102,	,002	ZI FI II	
	総計に基	務事業名 づく (29 ⁴		自理事務事業 順調である		継続・	継続	事務事		131-02	∃当 H25	*****	7八国部	1120	* D	A 公園課
	事業の進捗	大次	/ /	の必要な道路とその利用者		新規	和生形定	自治	自治事務(信	(28年度実施		是此	公園課		評価対象	
2									合評価・	(20年及天池・	1		妥当		効性	効率性
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいの	か) 生活基	基盤である道路の安全性の研	確保を図る。				の方向性	現状維持		からの評価	Α		В	Α
		手段 (事業内容)		接:道路構造物の老朽化や破損に対し、 繕工事:道路舗装・安全柵・側溝・集水杉 事 :道路舗装・道路構造物の老朽化+	升等の小規模な破	数損の修繕	•		8事業費 市負担額) 単位:千P		決算額 31,714 31,714	29年		,610	30年度 実施の 方向性	実施
									I		01,711	/ (,0.0 /	A D I S I I I I	
	事 発	基本学名	播梁製	生持補佐直費				主张宝宝	≝⊐―ド	131-02	-03	1				
	総計に基			推わ順調である		継続・	継続	事務事	集コード 自治事務(義	131-02 務的なもの)	: −03 担当 H28	道路	Y公園課	нзо	道路	各公園課
		づく *状況 ⁽²⁹⁴	度 B		二架かる全ての	新規		法定· 自治	自治事務(義		担当 H29		子公園課		道路	
3	総計に基事業の進捗	づく *状況 (29 ⁴ 対象(誰を・何 目的	度 B を) 当課で その	概ね順調である で管理している市認定道路に)ほとんどが高度経済成長期	に架設された	新規 の道路 たもので	喬梁 あり、施設	法定·自治 29年度事務	自治事務(義 務事業評価 合評価・	務的なもの) 1	担当 H29	最終結果	妥当	二次性有	評価対象	象事業 *
3	総計に基	づく *状況 (29 ⁴ 対象(誰を・何	き) 当課で そ) の老林 を実が	概ね順調である で管理している市認定道路に)ほとんどが高度経済成長期 巧化や損傷が進んでいるため 他し、地域の安全・安心を確係	に架設された か、老朽化対 保する。	新規 の道路は たもので 策、長ま	喬梁 あり、施設 手命化対策	法定· 自治 29年度事務 総 今後	自治事務(義 務事業評価 合評価・ の方向性	務的なもの) (28年度実施 現状維持	担当 H29	長終結果 iからの評価	妥当	二次性有	評価対象 効性 人	象事業 *
3	総計に基事業の進捗	づく *状況 (29 ⁴ 対象(誰を・何 目的	を) 当課で そのの老木 を実が 平成264 れた。平	概ね順調である で管理している市認定道路に)ほとんどが高度経済成長期 5万化や損傷が進んでいるため	に架設された か、老朽化対 呆する。 扉の点検など道路 検・診断を実施、3	新規の道路体 たもので 策、長男 管理者の130年度に思	香梁 あり、施設 寺命化対策 養務が明確化さ 存の長寿命化	法定·自治 29年度事系 総 今後	自治事務(義 寄事業評価 合評価・ 会の方向性 は事業費 (市負担額)	務的なもの) (28年度実施 現状維持 28年度	担当 H28 各視点 決算額 18,531	長終結果 iからの評価	妥当 A 度(当初) 53	二次 性 有 多子算額 ,416	評価対象 効性 A 30年度 実施の	象事業 *
3	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	対象(誰を・何 対象(誰を・何 目的 (どうしたいの 事業内容	を) 当課で そのの老木 を実が 平成264 れた。平計画を見	概ね順調である で管理している市認定道路に が高度経済成長期 特化や損傷が進んでいるため をし、地域の安全・安心を確存 年に道路法施行規則が改正され、5年毎 成29年度に管理する全34格、5年毎 更新し、以後計画的に修繕工事等を実施	に架設された か、老朽化対 呆する。 扉の点検など道路 検・診断を実施、3	新規の道路体 たもので 策、長男 管理者の130年度に思	香梁 あり、施設 寺命化対策 養務が明確化さ 存の長寿命化	法定·自治 29年度事系 総 今後	自治事務(義 寄事業評価 合評価・ さの方向性 診事業費 市負担額) 単位:干P	務的なもの) 1 (28年度実施 現状維持 28年度	日当 H25 事業) 1 各視点 決算額 18,531 18,531	長終結果 iからの評価	妥当 A 度(当初) 53	二次 性 有 多子算額 ,416	評価対象 効性	象事業 * 効率性 A
3	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	大沢 (294 大沢 (294 対象(誰を・何 目的 (どうしたいの 手段 (事業内容	を) 当課で の老が) で表が で表すが、 で表すが、 で表すが、 で表すが、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	概ね順調である で管理している市認定道路に にとんどが高度経済成長期 防化や損傷が進んでいるた故 し、地域の安全・安心を確仮 年に道路法庫行規則が改定も、5年年 成20年度に管理する全94橋の定期点 重新し、以後計画的に修繕工事等を実施	川に架設された か、老朽化対 大まする。 森の点検など道路 検・診断を実施、3 億し、長寿命化対策	新規 の道路格 たもので 策、長男 管理者の 30年度に 認める 継続・	喬梁 あり、施設 季命化対策 養務が明確化さ 存の長寿命化。	法定·自治 29年度事務 総後 45 55 55 55 55 55 55 55 55 55 55 55 55	自治事務(義 寄事業評価 合評価・ の方向性 お事業費 市負担額) 単位:千円	務的なもの) (28年度実施 現状維持 28年度 3 (日当 H25年	最終結果 からの評価 29年) (妥当 A 度(当初) 533 28	二次 性 有)予算額 (416 (,116)	評価対象 効性 A 30年度 実施の 方向性	象事業 * 効率性 A 実施
3	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	対象(離を・何 対象(離を・何 (どうしたいの 手段 (事業内容) 新事業名	を) 当課で その を が を 実 が 平成 264 れた。 計画を 更 道路 を	概ね順調である で管理している市認定道路に が高度経済成長期 行化や損傷が進んでいるため をし、地域の安全・安心を確存 年に道路法施行規則が改正され、5年毎 東京29年度に管理する全94個の定期点 更新し、以後計画的に修繕工事等を実施	川に架設された か、老朽化対 大まする。 森の点検など道路 検・診断を実施、3 億し、長寿命化対策	新規 の道路体 たもので 策、長 管理者の 30年度に思 策を進める	香梁 あり、施設 寺命化対策 養務が明確化さ 存の長寿命化	法自29年度 事 教 総後 新た ・	自治事務(義 高・本務(義 高・本務) 高・本の方向性 は・本書類(2) 単位・エアード 自治事務(義	務的なもの) (28年度実施 現状維持 28年度 (131-02 務的なもの) ま	担当 H25年 各視点 各視点 18,531 18,531 2-04 担当 H25	最終結果 29年) (道路	妥当 A 度(当初) 53	二次 性 有 3 予算額 .416 .116)	評価対象 効性 A 30年度の 実施の性 道路	象事業 * 効率性 A 実施
3	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要 事務 を計に基 事業の進捗	対象(誰を・何 対象(誰を・何 (どうしたいの (事業内容 対象(誰を・何	を)当課で、 のを実施した。 のを実施した。 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで	概ね順調である で管理している市認定道路に のほとんどが高度経済成長期 で化や損傷が進んでいるため をし、地域の安全・安心を確存 年に道路法施行規則が改正され、5年毎 成20年度に管理する全44億の定期点 更新し、以後計画的に修繕工事等を実施 を使用事務事業 原調である を使用する市民 の区域・兼用工作物・占用物付	川二架設された か、老朽化対: 呆する。 毎の点検など道路 株: 診断を実施。3 他、長寿命化対5 件等道路管野	新規 の道路体 たもので 策、長 電理度に関 の で を で で で で で で で で で で で で で で で で で	高梁 あり、施設 テ命化対策 ^{養務が明確化さ 存の長寿命化} 。 継続	法定: 1	自治事務(義 高事業評価 合評価・ の方向性 本事業費 市負担額) 単位:干P 電子等 自治事務(義	務的なもの) (28年度実施 現状維持 28年度 (131-02 務的なもの)] (28年度実施	日当 H26 各視点 決算額 18,531 18,531 2-04 日当 H26	最終結果 29年) (道路 道路 道路 道路 道路 道路 29年) (道路 30年) (30年)	妥当 A 度(当初) 53 28 3公園課	二次 生生 有 (A16) 116) 120 120 120 120 120 120 120 120 120 120	評価対象 効性 A 30年度 実施の 方向性	象事業 * 効率性 A 実施
3	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要	対象(誰を・何 対象(誰を・何 (どうしたいの (事業内容 対象(誰を・何	を) 当課 で、 の を実 が、 の を実 が、 平成 264 れた。平耳 道路 を 道路 る の 市 項 を 形 で で か が で な な か が で な か が で な か が で な か が で な か が で な か が で な か が で な か が で な か が で な か が で な か が で な か が で な か が で な か か が で な か か が で な か か が で な か か か が で か か か か か か か か か か か か か か か	概ね闡調である で管理している市認定道路に が高度経済成長期 が化や損傷が進んでいるため をし、地域の安全・安心を確存 年に道路法施行規則が改正され、5年毎 東京20年度に管理する全44億万度期点 更新し、以後計画的に修繕工事等を実施 「機関である を使用する市民	に架設された か、老朽化対: 保する。 趣の点検など道路 検・診断を実施。3. 他し、長寿命化対5 作等道路を である。 に は に に に に に に に に に に に に に	新規 の道路はたまので表 で表 で表 で表 ので表 ので表 ので表 ので表 ので表 ので表 ので表	高梁 あり、施設 テ命化対策 ^{養務が明確化さ 存の長寿命化} 。 継続		自治事務(義 高事業評価 合評価・ の方向性 半単位:千円 自治事務(義 参事業評価 合評価・ の方向性	務的なもの) (28年度実施 現状維持	日当 H26 各視点 決算額 18,531 18,531 2-04 日当 H26 各視点	29年))(道路 道路 道路 がらの評価	妥当 A 度(当初) 53 28 子公園課 妥当 A	二次 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	評価対象	* 効率性 A 実施
3	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要 事務事業の 総計に基 事業の進捗	対象(誰を・何 対象(誰を・何 (どうしたいの 事業名 対象(誰を・何 (とうしたいの 事業名 対象(誰を・何	を 当課 の の 本 が い か の を 実 が も が か か が か が か が か が か が か が か が か か が か	概ね順調である で管理している市認定道路に ごほとんどが高度経済成長期 汚化や損傷が進んでいるため にいるため を中、道路法施行規則が改正され、6年毎 年、近28年度に管理する全94橋の定期点 更新し、以後計画的に修繕工事等を実施 全機管理事務事業 原間である を使用する市民 の区域・兼用工作物・占用物・ に関し、道路管理事務を円滑	に架設された か、老朽化対: 保する。 趣の点検など道路 検・診断を実施。3. 他し、長寿命化対5 作等道路を である。 に は に に に に に に に に に に に に に	新規 の道路はたまので表 で表 で表 で表 ので表 ので表 ので表 ので表 ので表 ので表 ので表	高梁 あり、施設 テ命化対策 ^{養務が明確化さ 存の長寿命化} 。 継続		自治事務(義 ・ 本 本 本 会 ・ 本 会 ・ 本 本 会 ・ 本 本 会 ・ 本 ら ・ 本 。 ・ 本 ら ・ も ・ 本 ら ・ 本 ら ・ も ・ も ・ も ・ も ・ も ・ も ・ も ・ も	務的なもの) (28年度実施: 現状維持 28年度 (131-02 務的なもの) (28年度実施: 現状維持 現状維持	担当 H25年	最終結果 29年 からの評価 29年	妥当 A 度(当初) 53 28 3公園課 度(当初) 16	- 次 有	評価対象	** 効率性 A 実施
4	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要 事務事業の 総計に基 事業の進捗	対象(誰を・何 (どうしたいの 事業名 対象(誰を・何 (とうしたいの 事業名 対象(誰を・何 (どうしたいの 事業内容	を 当	概ね順調である で管理している市認定道路に のほとんどが高度経済成長期 防化や損傷が進んでいるため 他し、地域の安全・安心を確存 他に道路法施行規則が改正され、6年毎 成29年度に管理する全94橋の定期点 更新し、以後計画的に移輔工事等を実施 全帳管理事務事業 原調である を使用する市民 の区域・兼用工作物・占用物・ 世程し、道路管理事務を円滑 や区域変更に伴う道路合帳の と様の整備を行う。	に架設された か、老朽化対: 保する。 趣の点検など道路 検・診断を実施。3. 他し、長寿命化対5 作等道路を である。 に は に に に に に に に に に に に に に	新規 の道路はたまので表 で表 で表 で表 ので表 ので表 ので表 ので表 ので表 ので表 ので表	高梁 あり、施設 テ命化対策 ^{養務が明確化さ 存の長寿命化} 。 継続	注: 注: 注: 注: 注: 注: 注: 注:	自治事務(義 高事業評価 合評価・ の方向性 等事業理価 自治事務(義 等事業評価 をの方う費 自治事務(義 等事業評価 をの方向性 本市負担額) 本市負担額の ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	務的なもの) (28年度実施 現状維持	日当 H254 H25	最終結果 29年 からの評価 29年	妥当 A 度(当初) 53 28 3公園課 度(当初) 16	- 次 有	評価対象 A 30年度の 方向性 道路 対象性 B	象事業 * 効率性 A 実施
4	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要 事務 事務事業の 概要 事務事業の 概要	対象(誰を・何 対象(誰を・何 (どうしたいの 事業名 対象(誰を・何 (とうしたいの 事業名 対象(誰を・何 (とうしたいの 「事業内容」	を 当課 その を 対 の を 実 が か の を 実 な ら が か の を 変 が か が の か が か が か か が か が か が か が か が か	概ね順調である で管理している市認定道路に が高度経済成長期 行化や損傷が進んでいるため をし、地域の安全・安心を確存 年に道路法施行規則が改正され、5年毎 東京29年度に管理する全94億の定期。計 更新し、以後計画的に移輸工事等を実施 会議を使用する市民 の区域・兼用工作物・占用物・ い選覧である と使用する市民 の区域・兼用工作物・占用物・ い道路管理事務を円滑・ や区域変更に伴う道路台帳の 会帳の整備を行う。	に架設された か、老朽化対: 保する。 趣の点検など道路 検・診断を実施。3. 他し、長寿命化対5 作等道路を である。 に は に に に に に に に に に に に に に	新規 の道路やたま、 ででは、 ででは、 できる できます。 できます できまる できまる できまる できまかる できまかる かいまい はい	高梁 あり、施設 テ命化対策 ^{複務が明確化さ 存の長寿命化。} 継続 基礎的な事 道の認定、	注:	自治事務(義 帝事業評価 会にの方向性 は市事類担額(事業理価 自治事務(義 事業評価 会の方向性 と市の方向性 を市の方向性 を事業評価 会の方向性 と市の方向性 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	務的なもの) 1 28年度実施 現状維持 28年度 (131-02	日当 H256年	最終結果 からの評価 29年))(29年))(妥当 A 度 (当初) 53 28 28 4	一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 有 一次 有 一次 有 一次 有 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次	評価対象 A 30年度の 10年e 10年e 10年e 10年e 10年e 10年e 10年e 10年e 10年e 10年e 10年e 10年e 10年e 10年e 10年e 10年e 1	* 効率性 A 実施 Substituting the property of the prope
4	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要 事務事業の 総計に基 事業の進捗	対象(誰を・何 (どうしたいの 事業名 対象(誰を・何 (とうしたいの 事業名 対象(誰を・何 (とうしたいの 事業内容:	を 当	概ね順調である で管理している市認定道路に のほとんどが高度経済成長期 防化や損傷が進んでいるため 他し、地域の安全・安心を確存 他に道路法施行規則が改正され、6年毎 成29年度に管理する全94橋の定期点 更新し、以後計画的に移輔工事等を実施 全帳管理事務事業 原調である を使用する市民 の区域・兼用工作物・占用物・ 世程し、道路管理事務を円滑 や区域変更に伴う道路合帳の と様の整備を行う。	に架設された か、老朽化対: 保する。 趣の点検など道路 検・診断を実施。3. 他し、長寿命化対5 作等道路を である。 に は に に に に に に に に に に に に に	新規 の道路はたまので表 で表 で表 で表 ので表 ので表 ので表 ので表 ので表 ので表 ので表	高梁 あり、施設 テ命化対策 ^{養務が明確化さ 存の長寿命化} 。 継続	注:	自治事務(義 高事業評価 合の方向性 準本・負担額) 単位・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	務的なもの) (28年度実施 現状維持	日当 H25年 H25	最終結果 29年) (道路 29年) (道路 29年) (4 維持	妥当 A 度(当初) 53 28 3公園課 度(当初) 16	一次 下穿額 (416 (116)) — — — — — — — — — — — — — — — — —	評価対象性 A 30年度の 10年度の	象事業 * 効率性 A 実施 System A (実施) F管理課
4	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要 事務事業の 概要	対象(誰を・何 (どうしたいの 事業名 対象(誰を・何 (どうしたいの 事業名 対象(誰を・何 (こうしたいの 事業名 (こうしたいの (事業内容)	を 当	概ね順調である で管理している市認定道路に が高度経済成長期 行化や損傷が進んでいるため をし、地域の安全・安心を確存 年に道路法施行規則が改正され、5年毎 東京29年度に管理する全94億の定期。計 更新し、以後計画的に移輸工事等を実施 会議を使用する市民 の区域・兼用工作物・占用物・ い選覧である と使用する市民 の区域・兼用工作物・占用物・ い道路管理事務を円滑・ や区域変更に伴う道路台帳の 会帳の整備を行う。	に架設された か、老朽化対: 保する。 趣の点検など道路 検・診断を実施。3. 他し、長寿命化対5 作等道路を である。 に は に に に に に に に に に に に に に	新規 の道路林たものです。 たまのです。 管理者のは30年を進める 継続・ 乗生のは、 を理理を対象を発表しています。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	高梁 あり、施設 テ命化対策 ^{複務が明確化さ} は存の長寿命化。 継続 基礎的な事 道の認定、	注:	自治事務(義 高事業評価 合の方向性 準本・負担額) 単位・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	務的なもの) 1 28年度実施 現状維持 28年度 (131-02	日当 H25年 H25	最終結果 29年) (道路 29年) (道路 29年) (4 維持	要当 A B B B B B B B B	一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次	評価対象性 A 30年度の 道路 部価対象性 B 30年度の 道路 部価対象性 とは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	象事業 * 効率性 A 実施 A 実施 A 実施 P管理課 象事業
4	総計に基本業の進捗 事務事業の 概要 事務事業の 事務事業の 概要 事務事業の を記述地 事務事業の	対象(誰を・何 (どうしたいの 事業名 対象(誰を・何 (とうしたいの 事業名 対象(誰を・何 (とうしたいの 事業内容:	を 当 で の を 成 が か) を 変 と か) を 変 と が) を 変 と が) 道 路 音 を か か) 原 道 路 音 を か か) 原 道 路 音 を か か) 原 道 路 音 を か か) 原 道 路 音 を か か) 原 か ら の た が か ら の た か か り か か り か か り か か り か か り か か り か か り か か か か り か	概ね順調である で管理している市認定道路に が高度経済成長期 行化や損傷が進んでいるため をし、地域の安全・安心を確存 年に道路法施行規則が改正され、5年毎 東京29年度に管理する全94億の定期。計 更新し、以後計画的に移輸工事等を実施 会議を使用する市民 の区域・兼用工作物・占用物・ い選覧である と使用する市民 の区域・兼用工作物・占用物・ い道路管理事務を円滑・ や区域変更に伴う道路台帳の 会帳の整備を行う。	に架設された か、老朽化対: 保する。 趣の点検など道路 検・診断を実施。3. 他し、長寿命化対5 作等道路を である。 に は に に に に に に に に に に に に に	新規 の道路林たものです。 たまのです。 管理者のは30年を進める 継続・ 乗生のは、 を理理を対象を発表しています。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	高梁 あり、施設 テ命化対策 ^{複務が明確化さ} は存の長寿命化。 継続 基礎的な事 道の認定、	29年度	自治事務(義 高事業評価 合の方向性 準本・負担額) 単位・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	務的なもの) (28年度実施 現状維持	日当 H25年 H25	最終結果 29年) (道路 29年) (29年) (4 維持) (4 維持) (7 年) (7	妥当 A 度 (当初) 53 28 28 4	一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次 一次	評価対象性 A 30年度の 10年度の	象事業 * 効率性 A 実施 Substituting the substitution of the substitutio
4	総計に基 事業の進捗 事務事業の 概要 事務事業の 概要	対象(離を・何 (どうしたいの 事業名 対象(誰を・何 (どうしたいの 事業名 対象(誰を・何 (とうしたいの (事業名 が決別な(などうしたいの (事業名 が決別な(などうしたいの (事業名 が決別な(などうしたいの (事業名	を き 当 で の を で か か で を で が か か を 全	概ね順調である で管理している市認定道路に のほとんどが高度経済成長期 いているためを確行。 し、地域の安全・安心を確行。 に道路法施行規則が改正され、5年毎 に返路法施行規則が改正され、5年毎 に返路法施行規則が改正され、5年毎 に成20年度に管理する全94橋の定期点 更新し、以後計画的に移縛工事等を実施 のを使用する市民 のと使用する市民 のと使用する市民 のとは、兼用工作物・占用物 に対象が、兼開工作物・占用物 に対象で理に伴う道路台帳の といるを備を行う。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	に架設された か、老朽化対: 保する。 趣の点核など道路 検・診断を実施。3. 他し、長寿命化対5 作等道路を である。 に は に に に に に に に に に に に に に	新規 の道路林たものです。 たまのです。 管理者のは30年を進める 継続・ 乗生のは、 を理理を対象を発表しています。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	高梁 あり、施設 テ命化対策 ^{複務が明確化さ} は存の長寿命化。 継続 基礎的な事 道の認定、	x x x x y </td <td>自治事務(義 高事業評価 合の方向性 等事集担額) 平向担望位・干 自治事業評価 合の方角費 自治事業評価 合の方角費 単位・干 自治事業担額の・干 自治事業担額の・干 自治事業担額の・干 自治事業に 自治事業に 自治事務(義</td> <td>務的なもの) 1 (28年度実施 現状維持 28年度実施 現状維持 28年度 現状維持 28年度 現状維持 28年度 (131-02 務的なもの) 1 (28年度実施 現状維持 28年度実施 現状維持 28年度実施 現状維持 28年度実施 現状維持 28年度実施 現状維持 28年度実施 3 (28年度実施 3 (28年度実施 3 (28年度実施 3 (28年度実施 3 (28年度 3 (28+2816)) (28年度 3 (28年度 3 (28+2816)) (28年度 3 (28年度 3 (28年度 3 (28416)) (28416)) (28年度 3 (28416)) (28416)) (28416) (28416)) (28416) (28416)) (28416) (28416)) (28416) (28416)) (28416) (28416)) (28416) (28416)) (28416) (28416) (28416)) (28416) (28416)) (28416) (28416)) (28416) (28416)) (28416) (28416)) (28416) (28416)) (28416) (28416)) (28416) (28416)) (28416) (28416) (28416)) (28416) (28416) (28416)) (28416) (28416) (28416)) (28416) (28416) (28416)) (28416) (28416) (28416) (28416)) (28416) (</td> <td>日当 H256 H25</td> <td>最終結果 29年) (29年) (</td> <td>要当 A 度 (当初) 16 16 16 16 4</td> <td>一次 有</td> <td>評価対象性 A 30年度の性 道路 30年度の性 道路 30年度の性 30年度の性 30年度の性 30年度の性 30年度の性 30年度の対象性 30</td> <td>象事業 * 効率性 A 実施 * A 実施 A 実施 事業 効率性</td>	自治事務(義 高事業評価 合の方向性 等事集担額) 平向担望位・干 自治事業評価 合の方角費 自治事業評価 合の方角費 単位・干 自治事業担額の・干 自治事業担額の・干 自治事業担額の・干 自治事業に 自治事業に 自治事務(義	務的なもの) 1 (28年度実施 現状維持 28年度実施 現状維持 28年度 現状維持 28年度 現状維持 28年度 (131-02 務的なもの) 1 (28年度実施 現状維持 28年度実施 現状維持 28年度実施 現状維持 28年度実施 現状維持 28年度実施 現状維持 28年度実施 3 (28年度実施 3 (28年度実施 3 (28年度実施 3 (28年度実施 3 (28年度 3 (28+2816)) (28年度 3 (28年度 3 (28+2816)) (28年度 3 (28年度 3 (28年度 3 (28416)) (28416)) (28年度 3 (28416)) (28416)) (28416) (28416)) (28416) (28416)) (28416) (28416)) (28416) (28416)) (28416) (28416)) (28416) (28416)) (28416) (28416) (28416)) (28416) (28416)) (28416) (28416)) (28416) (28416)) (28416) (28416)) (28416) (28416)) (28416) (28416)) (28416) (28416)) (28416) (28416) (28416)) (28416) (28416) (28416)) (28416) (28416) (28416)) (28416) (28416) (28416)) (28416) (28416) (28416) (28416)) (28416) (日当 H256 H25	最終結果 29年) (要当 A 度 (当初) 16 16 16 16 4	一次 有	評価対象性 A 30年度の性 道路 30年度の性 道路 30年度の性 30年度の性 30年度の性 30年度の性 30年度の性 30年度の対象性 30	象事業 * 効率性 A 実施 * A 実施 A 実施 事業 効率性

					-											
基	基本事業名	交通ターミナル	機能の引	強化			対 (誰を	象 ·何	を)	鉄道駅等						
į	基本事業 コード	132-0	ı			事業の 概要		的	54.	交通機関	の利便性の「	句上と、	通行者の	安全性を確	保する。	
第6	次羽曳野市絲	合基本計画					(どうした	-610	(ימט							
	5年目標			ある住みよいまち					指相	漂名		単位	H28.4B 現状値(約		29年度 実績	32年度 日標 (総計)
	5策 5策の方向	3 道路·交 2 公共交		通ターミナル機能の強化 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	総合	基本計画							現状他 (#	おaT)	夫 模	日悰(総訂)
=	ちづくりの			原を活かしたまちづくり		標指標										
	战略			›・安全に暮らせるまちづくり D活力と成長に向けたまちづくり												
		- (-//(_		ı.	
	事務	务事業名	A MET SEE - SE - SE					PHF	務事業	コード	132-01-	-01				
	総計に基 事業の進					継続・ 新規	継続) <u>i</u>	ま定・ 自治	自治事務(任	意のもの) 担	l当 H29	道路整	備推進室	H30 道路	整備推進室
		対象(誰を・何を	駅前南	例の利用者全ての方				29호	F度事務	事業評価 (28年度実施事	業)量	&終結果		二次評価対	対象事業 *
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか		ふれあい交流拠点として、駅利月 び交通ターミナル機能の強化を			安全性確			合評価・ の方向性	拡充·重点化	各視点	からの評価	_{妥当性} В	有効性 B	効率性 A
		手段 (事業内容)		B戸大堀線歩道整備事業との事 任業者への契約準備。	業区域	の調整及	び次年度			事業費 市負担額) 単位:千円	28年度》	集算額 1,083 1,083	29年	隻(当初)予算 16,511 16,511	7額 30年度 実施の 方向性	実施
	事務	务事業名	恵我之	荘市営駐輪場管理運営事務事業				哥	事務事業	ニード	132-01-	-02				
		事務事業者				継続・ 新規	継続		ま定・ 自治	自治事務(任	意のもの) 担	<u>H29</u>	道路	公園課	нзо 1 <u>ё</u>	路公園課
		対象(誰を・何を) 通勤・通学など日常的な自転車等の						294	F度事務	事業評価 (28年度実施事	業)量	終結果		二次評価対	対象事業
2	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか			安全かつ の発生を防			合評価・ の方向性	現状維持	各視点	からの評価	_{妥当性}	有効性 B	効率性 A		
		手段 (事業内容)	現在、	を目的とする。 シルバー人材センターに管理運 者の利便性向上に努める。	営を委	託してお	り、引き続			事業費 市負担額) 単位:千円	28年度》	等額 9,283 6,252	29年)	<mark>隻(当初)予算</mark> 12,854 9,354	実施σ	実施

	基本事業名	鉄道駅のパリア	フリー化			象 ·何を)	鉄道駅						
	基本事業 コード	132-02		基本事業の 概要	В	的	+*do + 44	ウムズロル	- IQ #1->	ごきる環境を確	±/0+7		
第 6	6 次羽曳野市総	合基本計画			(どうした	いのか)	1511-011	女主で円消し	-	さる味児で作	主体する。		
	施策目標		るおいのある住みよいまち			‡			単位	H28.4時点		9年度	32年度
100	施策	3 道路·交i	_							現状値(総計	1)	実績	目標(総計)
1	施策の方向		i網と交通ターミナル機能の強化	総合基本計画									
1	まちづくりの		野の資源を活かしたまちづくり	目標指標									
	戦略		もが安心・安全に暮らせるまちづくり										
		(3)人口	減少下の活力と成長に向けたまちづくり	y									
	事務	 寄事業名	上ノ太子駅パリアフリー化整備事業			事務事	業コード	132-02	-01				
	総計に基 事業の進捗			#続・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	終了	法定· 自治	自治事務(任	£意のもの)	旦当 H29	都市計	画課	H30	
		対象(誰を・何を)	鉄道利用者等	•		29年度事	務事業評価	(28年度実施	事業)	最終結果		二次評価対	象事業
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	高齢者や障害者をはじめすべてのできる鉄道駅とする。)人が安全・安心でP	円滑に移動		総合評価・ 後の方向性	完了	各視点	からの評価	妥当性	有効性	効率性 A
		手段 (事業内容)	スロープ計2箇所、ホームに内方総 導・警告ブロックの整備、券売機場 置、待合室扉改良、触知案内図の	は込み改良、誘導チャ	マイムの設		総事業費 ち市負担額) 単位:千円		決算額 15,158 15,158	29年度(当初)予算 0 0	実施の	

									~								
基本	本事業名	公共交	通網の管	理						<u>\$</u>)	市民						
			132-03								生活のま	便性を向上さ	s#3				
6次	羽曳野市総	合基本	計画					(どうした	:616	りか)	T/100/1	TERENZO					
)ある住みよいまち					指標	名		単位				32年度 目標(総計)
					通ターミナル機能の強化	松 合 1	1. 本計画							SUNIE (M	эн /	大根	17 (NO 11 /
	づくりの (1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり																
			(2)だれも	が安心	·・安全に暮らせるまちづくり												
72.7																	
	事務	事業名		公共施	設循環パス運行事業				pilit	務事業:	コード	132-03-	-01				
			(29年度)	Α	順調である		継続・ 新規	継続) <u>1</u>	定· 自治	自治事務(任	意のもの) 担	当 H29	管財	用地課	H30 管	財用地課
. [対象(誰	を・何を)	市民	•			-	294	F度事務事	事業評価 (28年度実施事	業)量	最終結果		二次評価対	
١.		Е								総合	·評価•				妥当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要		-L\D\ta\)				を循環し、	市民に無							В	Α	В
							ス7台・8	ルートで市			負担額)	4	3,047	29年月	44,153	実施の	実施
	基: 次 施施施 ま戦 1	基本事業 コード 6次羽曳野市総施策 施策策の方向 まちづくりの 戦略 ****・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	基本事業コード 6次羽曳野市総合基本 施策目標 1 1 施策 3 3 施策の方向 2 まちづくりの 戦略	基本事業 132-03 6 次羽曳野市総合基本計画 施策目標 1 快適でうる 1	基本事業 コード 132-03 6 次羽曳野市総合基本計画 施策目標 1 快適でうるおいの施策 3 道路・交通施策の方向 2 公共交通網と交通施策の方向 2 公共交通網と交通では1)羽曳野の資質(2)だれもが安心 (3)人口減少下が要がある。 第書事業名 公共館 総計に基づく 事業の進捗状況 (28年度 日的 展型 おりにについか) 概要 日の (どうしたいのか) 根要 手段 平日辺 チャース	基本事業 132-03 6 次羽曳野市総合基本計画 施策目標 1 快適でうるおいのある住みよいまち 施策 3 道路・交通 施策の方向 2 公共交通網と交通ターミナル機能の強化 (1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり 事務事業名 公共施設循環パス運行事業 総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度 A 瞬間である 料で利用していただくサービスを提供 平日及び土曜日に市内85ヶ所のバス	基本事業 132-03 基本 1	基本事業 132-03 基本事業の 概要 6 次羽曳野市総合基本計画 施策目標 1 快適でうるおいのある住みよいまち 施策 3 適路・交通 施策の方向 2 公共交通網と交通ターミナル機能の強化 (1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり 事務事業名 公共施設循環パス運行事業 総計に基づく 事業の進捗状況 23年度 南路 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	基本事業	基本事業 132-03 基本事業の 概要 目的 (どうしたいの 概要 日前 (どうしたいの しか は に 対 は でうる おいのある住みよいまち 通路 で 3 通路・交通 (1) 羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり (2) だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり (3) 人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり (2) 本務事業の (2) 本務 (2) 本	基本事業	基本事業	基本事業	基本事業	基本事業	基本事業	基本事業 132-03 基本事業の 振要 目的 (どうしたいのか) 生活の利便性を向上させる。 132-03

基	本事業名	交通安	全対策の	D推進				·対		市民					
į	基本事業		133-01	·		基本事業		(誰を	何を)						
	コード 対別曳野市総	合基本				概要		目 (どうした		だれも	が安全に安心し	して通行	できる交通環境	を確保する。	
施	策目標	1	快適でう		うある住みよいまち					指標名		単位	H28. 4時点	29年度	32年度
	策 策の方向		道路·交通 交通安全		推進	総合基本	計画	駅周辺におり			¥tr	台	現状値 (総計)	実績 476	目標(総計)
	ちづくりの	0			原を活かしたまちづくり シ・安全に暮らせるまちづくり	目標指	標	引(同)2[1031	が以直	日和平版厶:	**		637	470	340
戦	略	Ŭ			の活力と成長に向けたまちづくり										
	事務	事業名		臨時運	【行許可等に関する事務事業				事務事	手業コード	133-01	- 01			
	総計に基・ 事業の進捗		(29年度	В	概ね順調である		続· f規	継続	法定· 自治	法定领	受託事務 技	担当 H29	道路公園	果 H30	道路公園課
1		対象(計	誰を・何を)	車両の)臨時運行を必要とする者				29年度事	務事業評価	(28年度実施	事業)量	&終結果	二次評价	西対象事業
	事務事業の		目的 たいのか)	ぎた自動	送車両法及び同法施行規則に基づき、未 助車に、一時的に運行許可を与える。 ※	《当該シート				総合評価・ 後の方向性	現状維持	各視点	からの証価	当性 有効f A A	<u></u> 数率性
	概要			自動車の	送車両法第2条第2項に定めるものをい 対規登録、新規検査、自動車検査証が有効	でない自動車				総事業費	28年度	決算額	29年度(当社		
			手段 業内容)	臨時運行	ョ請をするために必要な回送を行う場合、有効 行の許可を行う。また、有効期間満了後5日以 号標の返納を求めている。 臨時運行許可申討	内に臨時運行	許可証	及び臨時運行	(?	ち市負担額) 単位: Ŧ	·H (5,414 5,049) (5,309 4,909) 方向	
	車殺	宝 举 夕		办 海中	全対策施設等整備事業				車務国	三業コード	133-01	_02	7		
	事務事業名 総計に基づく 事業の進捗状況 (29年			B	概ね順調である		続・	継続	法定・			担当 129	道路公園	関 H30	道路公園課
	事業の進捗状況(29年)必要な道路とその利用者。	剃	f規	111111	自治 29年度事		(28年度実施				西対象事業
2	まなま #の	E	目的	交通の	つ円滑化を図り、併せて交通安全	と事故防」	上のた	-め, 区画		総合評価・	現状維持	夕知占	好らの評価	当性 有効性	生 効率性
	事務事業の 概要	(どうし)	たいのか)	11017 1101	護柵及び道路照明を整備する。 ペトロール等で発見した危険箇所	レ利田老も	wi o	. 芋/きナッこ ブ	今	後の方向性 総事業費	28年度		29年度(当社	A B 30 [±]	A
			手段 業内容)		置要望を受けた危険箇所等の整備				(3	総事未复 らち市負担額) 単位:千		29,594 29.594	2	26,868 実施	実施
													<u> </u>	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
	総計に基金	事業名			全啓発活動事業		続•		事務 法定・	業コード	133-01				
	事業の進捗		(29年度	Α	順調である		·祝· f規	継続	自治	自治事務	任意のもの) 打	担当 H29	道路公園	果 H30	道路公園課
3		対象(計	惟を・何を)	市民					29年度事	務事業評価	(28年度実施	事業)量		当性 有効	m対象事業 主 効率性
	事務事業の 概要		目的 たいのか)	市民の)交通安全に対する意識と交通マ	ナーの向	上を	図る。		総合評価・ 後の方向性	現状維持	各視点	からの郵価	A B	A
	J/// X		手段	(羽曳野7	を通安全に対する意識と交通マナーの向上を「 市・藤井寺市)、警察、交通安全協会の4者が	協働し、春・利	火の全国	交通安全運動	(2	総事業費 ち市負担額)	28年度	決算額 7.943	29年度(当社	刃) 予算額 8.697 実施	
		(事業	(内容)	期間等でン」、「めし	、「交通安全市民大会」、「交通安全運転講習いわく駐車対策キャンペーン」などの各種イベ	「会」、「交通安 ントを実施して	全街頭	キャンペー		単位:千	円 (7,943) (8,697) 方向	
	事務	事業名	1	放置自	転車対策事業				事務事	業コード	133-01	-04			
	総計に基金事業の進捗		(29年度	Α	順調である		続・ f規	継続	法定· 自治	自治事務(任意のもの) 丼	担当 H29	道路公園	果 H30	道路公園課
		対象(記	誰を・何を)	自転車	軍等の利用者				29年度事	務事業評価	(28年度実施	事業) 最	是終結果	二次評価	西対象事業
4	事務事業の		目的 たいのか)	放置によ	道路等における自転車等の駐車秩序を よる生活環境の悪化を防止し、災害時の	緊急避難路				総合評価・ 後の方向性	現状維持	各視点	からの評価	当性 有効性	
	概要			市内5斯	全及び通行機能の保持を図ることを目的 Rの周辺において、市条例に基つき『目戦	本車等放置 禁			7	総事業費	28年度	決算額	29年度(当社	A A A 30 [±]	A Eg
			手段 業内容)		ている自転車等を撤去・保管するとともに 、禁止区域の周知を目的とした路面標示				(?	ち市負担額) 単位: 千	·Ħ (15,102 14,791	i	8,971 実施 8,656	変 実施
				う。						単位:千	円 (14,791) (8,656) 方向]性

	基本事業名	3	緑化推進	Ė						対 (誰を・		١	市民等							
第(基本事業 コード 次羽曳野	市総		41-01 ·画				基本事態概要			的		みどり豊	かなうるお	いのある	環境	づくりを図る。			
	施策目標 施策			:適でうる :どり·空		ある住みよいまち						指標	名		単位		H28.4時点 伏値(総計)	29年		32年度 目標(総計)
Ιŀ	施策の方向	-				ヒの推進 原を活かしたまちづくり		総合基本 目標指		公園・緑地の充	実と緑	化の推進	に満足してし	いる市民の害	合 %		21.0		不明	25.0
	まちづくりの 戦略	,				・安全に暮らせるまち D活力と成長に向けた														
		事務	事業名		市民緑	化推進事業					事	务事業コ	ード	141-	01-01					
	総計			(29年度)	A	順調である		, i	継続・ 新規	継続	法定自治		治事務(任	(意のもの)	担当	29	みどり推進	室 H3	o 70	どり推進室
1			対象(誰を	・何を)	誕生記 登録団	記念植樹申請者、健原]体	まこり来場	者、クリー	ーンホ	ソクス市民	29年月	度事務事	業評価 (28年度実	施事業)	最終	結果 妥当		二次評価対	対象事業 効率性
	事務事業概要		目的(どうしたし		みどり	豊かなうるおいのあ	るまちづくりる	を進めるこ	ことを目	的とする。		総合 今後の	評価· 方向性	現状維	持各視	点から	の評価	4	A	A
			手段(事業内			記念植樹1本(プレート ボックス市民貸出団						総事(うち市)	業費 負担額) 単位:千円		度決算額 4,858 4,858	3		D)予算額 4,858 4,858)	30年度 実施の 方向性	実施
		事務	事業名		公共縁	化推進事業					事	8事業コ	1 - ド	141-	01-02					
	総計の事業の			(29年度)	Α	順調である			继続· 新規	継続	法定自		治事務(任	(意のもの)	担当	129	みどり推進	室 H3	o 70	どり推進室
2			対象(誰を	そ・何を)	公共施	設					29年』	度事務事	業評価 (28年度実	施事業)	最終			二次評価対	
	事務事業概要		目的 (どうした)		みどり	豊かなうるおいのあ	るまちづくりる	を進めるこ	ことを目	的とする。		総合記 今後の	評価· 方向性	現状維	持各視	点から	の可用	当性 入	有効性 A	効率性 A
			手段 (事業内		公共施	設への花苗及びチェ	ューリップ球	根の配付				総事(うち市)	業費 負担額) 単位:千円		度決算額 2,183 2,183	3		D)予算額 2,217 2,217)	30年度 実施の 方向性	実施
		事務	事業名		緑化推	進団体支援事業					事	8事業コ	ード	141-	01-03					
	総計			(29年度)	Α	順調である			継続・ 新規	継続	法定自		治事務(任	(意のもの)	担当	29	みどり推進	室 H3	o 70	ビリ推進室
3			対象(誰を	を・何を)	大阪菜 団	i花会、羽曳野市みと	ごりの推進協	議会、羽	曳野市	5緑の少年	29年	度事務事	業評価 (28年度実	施事業)	最終			二次評価対	
	事務事業概要		目的 (どうした)		緑化推	進団体の育成						総合 今後の	評価・ 方向性	現状維	持各視	点から	の可用	当性 人	有効性	効率性 A
	1765	`	手段(事業内	Ϋ́	の推進	ī花会-菊花大会、藜 協議会-都市月間]−駅前花いっぱい※	苗無料配				総事(うち市)	業費 負担額) 単位:千円		度決算額 6,360 6,360)		D)予算額 6,382 6,382)	30年度 実施の 方向性	実施	
		事務	事業名		菊花大	会開催事業					事	8事業コ	ı− ド	141-	01-04					
	総計	に基7	づく 状況	(29年度)	Α	順調である			继続· 新規	継続	法定自		治事務(任	(意のもの)	担当	129	みどり推進	室 H3	o 70	どり推進室
4			対象(誰を	・何を)	市民						29年月	度事務事	業評価 (28年度実	施事業)	最終			二次評価対	
	事務事業概要		目的 (どうした))培養並びにその技行 豊かな潤いのある往						総合 今後の	評価· 方向性		持各視		の評価	•	有効性 A	効率性 A
			手段(事業内			代表する花「菊」をプ				てた菊花を		総事(うち市)	業費 負担額) 単位:千円		度決算額 7,348 7,348	3		D)予算額 7,297 7,297)	30年度 実施の 方向性	実施

		_				1			~									
基	本事業名	緑化	答発					対 (誰を		を)	市民							
	基本事業 コード		141-02				本事業の 概要	目 (どうした	的	D4V)	緑化への	の理解を深め	、意識 <i>0</i>	O高揚を	図る。			
6 ?	欠羽曳野市総	合基本	計画					(2)0/3	_0 .0	<i>(</i>) (3.7)								
	策目標				ある住みよいまち					指標	票名		単位		4時点		年度	32年度
施施	策 策の方向		みどり・空 緑地の保		· の 性 准	40 A -	++===			,,				現状値	(総計)	3	ミ績	目標(総計
-		<u>'</u>			い _{在進} 「を活かしたまちづくり		基本計画 標指標											
ま戦	ちづくりの ¤x				安全に暮らせるまちづくり	1 "	IN III IN											
拟	阳	0	(3)人口	減少下の	活力と成長に向けたまちづくり													
	事務	事業名	(10年度) A						哥	事務事業:	コード	141-02	-01					
	総計に基 事業の進捗	基づく 排状況 (29年度 A 順調である					継続・ 新規	継続		ま定・ 自治	自治事務(任	£意のもの) 打	旦当 H29	み	どり推進	室	H30 み。	どり推進室
		対象(誰を・何を)	みどりの	D講習会受講希望者				29全	F度事務事	事業評価	(28年度実施	業)	最終結果			二次評価対	才象事業
1	事務事業の 概要		目的 たいのか)		あったテーマを選び自然を知り 習し、講習会を通じて地域より終 作る。						☆評価・ の方向性	現状維持	各視点	いらの評	妥当 価 /		有効性	効率l A
			手段 業内容)		あった花苗を選定し、講義や実 化推進を行う。	習を通	して身近れ	な家庭園芸			事業費 5負担額) 単位:千P	28年度	決算額 3,533 3,413) (D)予算8 3,598 3,418	30年度 実施の 方向性	実旅
	事務	事業	事業名 グリーンフェスタ開催事業						哥	事務事業:	コード	141-02	-02					
		事物事条句 対し基づく 業の進捗状況 (29年度 A 順調である				継続・ 新規	継続) <u>i</u>	ま定・自治	自治事務(任	任意のもの) 打	旦当 H29	み	どり推進	室	H30 み。	どり推進室	
		対象(誰を・何を) 市民							294	F度事務事	事業評価	(28年度実施	業)」	最終結果			二次評価対	才象事業
2	事務事業の 概要	■ 目的 豊かな「みどり」が人にもたらす恩恵の (どう) たいのか しょ きゃなねろえばたたが緑を殴し									計画・ の方向性	現状維持	各視点	からの評	妥当 価		有効性	効率(
	1990 SK		手段 業内容)	みどりに 催する。	 に関する催し物の開催や花苗の。	無料酮	配付等の~	イベントを開			事業費 5負担額) 単位:千P		決算額 11,948 11,948	29		D) 予算客 8,331 8.331	30年度 実施の 方向性	実旅

į	基本事業名	花とみどりあふ	れる環境整備				象 ·何を)	市民						
	基本事業 コード	141-03			事業の 概要	目	的	tuh tati I — -	おける交流の仮	1 准 し江	サルナ図ス			
第6	次羽曳野市総	合基本計画				(どうした	いのか)	地域に	いの文派のか	進る方	IIIILEMO.			
	五策目標 五策	1 快適でう 4 みどり・3	るおいのある住みよいまち				Ħ	標名		単位	H28.4時点 現状値(総計		9年度 実績	32年度 目標(総計)
	型束 対策の方向		:回笠岬 全と緑化の推進	40 A	基本計画						光化恒 (松計	,	大根	は (本で 前)
"	E 3K 07 71 F1	(1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり												
	ちづくりの	びくりの (1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり			標指標									
単	比略	(2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり O (3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり												
		(0))(1	### T 47/11/3/2// [14/17/10/0	3-()							<u> </u>		1	
	事務	 寄事業名	アドプトロード推進事業				事務事	業コード	141-03-	-01				
	総計に基準の進捗		A 順調である		継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治事務(何	任意のもの) 担	<u>H29</u>	みどり推	進室	нзо みど	り推進室
		事業の進捗状況 対象(誰を・何を) 地元小学校・中学校、高鷲駅前を育					00年中本	· 除事業評価	(28年度実施事	業) 5	最終結 里		二次評価対	象事業
			-870 1 1 12 1 1 12 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	KINZHUX			29年度争	为尹未計画	20年及天旭年		X4-4HAK			
1		日的	本会は、地域の顔である近鉄南大阪線	「高鷲駅」周辺を行政・	地域住民を含	めた多様な関	- 1 12 7	22 7 PINET IM				妥当性	有効性	効率性
•	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	本会は、地域の顔である近鉄南大阪線 係者が協働して「美しく魅力あふれる駅 て、地域の和を育み、心豊かな人づくり	「高鷲駅」周辺を行政・ 前の空間づくり」を行な・ ・ 笑顔と活気あふれる。	うとともに、こ まちの創造を	さめた多様な関 の活動を通じ 目指す。	糸	の事業計画 合評価・ 後の方向性				_{妥当性}	有効性	効率性 A
		(どうしたいのか)	本会は、地域の顔である近鉄南大阪線 係者が協働して「美しく魅力あふれる駅 て、地域の和を育み、心豊かな人づくり 小・中学校に土と花苗を支約	「高鷲駅」周辺を行政・ 前の空間づくり」を行な・ ・実顔と活気あふれる。 い、学校内で育	うとともに、こ まちの創造を て、育苗後	なめた多様な関 の活動を通じ 目指す。	新 今往	合評価・ 後の方向性 総事業費		各視点		人 当初)予算:	A 額 30年度	Α
			本会は、地域の顔である近鉄南大阪線 係者が協働して「美しく魅力あふれる駅 て、地域の和を育み、心豊かな人づくり	「高鷲駅」周辺を行政・ 前の空間づくり」を行な・ ・実顔と活気あふれる。 い、学校内で育	うとともに、こ まちの創造を て、育苗後	なめた多様な関 の活動を通じ 目指す。	新 今往	合評価・ 後の方向性	現状維持 28年度》	各視点	からの評価	Α	Α	

基	本事業名	公園の適切な	維持管理			対 (誰を	象 • 何 ź	\$)	公園						
	基本事業 コード 次羽曳野市総	142-01 合基本計画			事業の 既要	1111	的	<u>- '</u>	市民が安	心して利用で	きる環	境を確保すん	5 .		
施	策目標 策 策の方向	4 みどり・空	るおいのある住みよいまち 空間整備 公園の維持管理体制の充実		++=1==			指标	票名		単位	H28.4時 現状値(総		9年度 実績 [32年度 目標(総計)
a	まづくりの は略	(1)羽曳 〇 (2)だれ	野の資源を活かしたまちづくり もが安心・安全に暮らせるまちづくり 減少下の活力と成長に向けたまちづくり		基本計画 票指標										
	事務						事	務事業	コード	142-01-	01				
		事業の進捗状況				継続		定・ 自治	自治事務(任	意のもの) 担	当 H29	道路么	園課	H30 道 卫	各公園課
1							29年	度事務	事業評価 (28年度実施事	業)最	b 終結果		二次評価対	
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	市民が安全で快適に利用できるよう	5、適正な約	維持管理	を行う。			合評価・ の方向性	現状維持	各視点	からの評価	<u>妥当性</u> A	有効性 B	効率性 A
		手段(事業内容)	・公園、緑地の定期安全点検 ・日常清掃 化による施設や遊具のの修繕補修 ・公園 生の刈り込み ・病害虫の駆除等の管理作	、緑地内の	植栽の剪定	や潅水、芝			事業費 市負担額) 単位:千円		等額 3,971 3,357	29年度	(当初)予算 57,834 57,055	額30年度 実施の 方向性	実施
	事務	務事業名	公園等維持管理事業				事	務事業	コード	142-01-	-02				
		総計に基づく 業の進捗状況 (29年度 A 順調である			継続・ 新規	継続	法自	定・ 自治	自治事務(義和	務的なもの) 担	当 H29	維持管	理課	нзо 維持	持管理課
2		対象(誰を・何を) 公園・児童遊園					29年	度事務	事業評価 (28年度実施事	業)最	と終結果		二次評価対	象事業
2	事務事業の 概要	目的 安全・安心、快適に使える							合評価・ の方向性	現状維持	各視点	からの評価	妥当性	有効性 A	効率性 A
	<i>m</i> . ×	手段 (事業内容)	ŧ					事業費 市負担額) 単位:千円		等額 0,547 0,547	29年度	(当初)予算 18,041 18,041	額 30年度 実施の 方向性	実施	

				_						
	基本事業名	酸いと交流の拠点づ	< 9		対象 (誰を・何を)	市民				
	基本事業 コード	143-01		基本事業の 概要	目的	憩いと安らぎを与え、交	を流が	生まれる環境の東	文備を図る	
第	6 次羽曳野市総	合基本計画			(どうしたいのか)	感いとようとと子だい	C //IL/J · .	工 6 1 1 0 0 0 0 5 0 0 0	E NH C 151.00°	
	施策目標 施策	4 みどり・空間整			指標	名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)
	施策の方向)ある公園づくりの促進 資源を活かしたまちづくり	総合基本計画 目標指標	1人あたりの都市公園面積	責	'n	4.2	4.2	5.0
	まちづくりの 戦略		で心・安全に暮らせるまちづくり 下の活力と成長に向けたまちづくり							
	事務	8事業名			事務事業	<u></u>	_	7		
	総計に基 事業の進捗	づく 大況 (29年度)		継続・ 新規	法定自治	12	当 H29	,	Н30	
		対象(誰を・何を)			29年度事務事	業評価 (28年度実施事	業):			対象事業
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)				方问性		いらの評価	当性 有効性	効率性
		手段 (事業内容)				28年度決 負担額) 単位:千円 (算額	29年度(当初	30年 実施 方向	0

					_												
ž	基本事業名	水道水の	安全性の維	持と継続			対 (誰を	象 ·何	を)	市民							
	基本事業 コード	151	1-01			事業の 【 要	目	的		安全で:	おいしい水を供	· 纷士 z					
第6	次羽曳野市総	合基本計画	Ē.				(どうした	:LVG	のか)	X ± Ca	איייטייט אפיי	መሃህ	0				
	五策目標			のある住みよいまち					指相	票名		単位	H 28. 4B		29年度		32年度
1	策		水道										現状値(約	を計)	実績	日荷	(総計)
Fi.	態策の方向		≧で安定した			本計画											
l la	ナベノリの	づくりの (1)羽曳野の資源を活かしたまちづくり (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり		目標	指標												
	大略	O (2)だれもが安心・安全に暮らせるまちづくり															
7	~==																
	事務	S事業名	水質	音理事務事業				init.	事務事業	コード	151-01	-01					
	総計に基事業の進捗		29年度)	順調である		継続・ 新規	継続)2 	法定・ 自治	自治事務(作	任意のもの) 打	旦当 H29	水道原	局工務課	нзо ;	k道局:	工務課
1		対象(誰を・		野市水道事業の設置等に関する 域内住民	条例の第	第2条の	第2項の給	294	丰度事務	事業評価	(28年度実施事	業)	最終結果		二次評		
		目的	L)O	でも安全で安心して利用すること	のできる	水道水の	カ水質の管		松丛	♪評価·				妥当性	有効	ŧ	効率性
	事務事業の 概要	(どうしたい)		でも女主で女心して利用すること 適正に行う	w.c20	小坦小	//小貝の日			の方向性	現状維持	各視点	からの評価	Α	Α		Α
										事業費 市負担額) 単位:千月		夬算額 35,364 35,364) (度(当初)予算 40,028 40,028	実施	の	実施

基	本事業名	水道水の安気	した供給の確立			対 (誰を		水道施設	设等					
	基本事業	151-0	2		基本事業の									
	コード				概要	目 (どうした	的 いのか)	徹底した	水道管理に	より、安況	とした給水を	図る。		
	次羽曳野市総					(4)	,							
	5策目標 5策	1 快適で 5 上下水	うるおいのある住みよいま ^ま 道	5			指	標名		単位	H28.4時 現状値(総調		9年度 実績	32年度 目標(総計)
	策の方向		安定した水の供給		総合基本計画									
	ちづくりの		曳野の資源を活かしたまち [・] ιもが安心・安全に暮らせる		目標指標									
取	略		コ減少下の活力と成長に向											
	事務	務事業名	水道管路管理事務事業	l .			事務事	業コード	151-0	2-01				
	総計に基事業の進捗		東 A 順調である		継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治事務(任	E意のもの)	担当 H29	水道局	工務課	H30 水i	道局工務課
1		対象(誰を・何	羽曳野市水道事業の 水区域内住民	設置等に関する条	例の第2条の	第2項の給	29年度事務	務事業評価 (〔28年度実施	事業) 最	b 終結果		二次評価対	才象事業
	事務事業の概要	目的 (どうしたいのか	て利用することの 各の管理を適正に行		を各家庭に		合評価・ との方向性	現状維持	寺 各視点	からの評価	妥当性	有効性	効率性	
	,,,,							多事業費 市負担額) 単位:千円		度決算額 82,923 82,923	29年度	(当初)予算 119,349 119,339	額 30年度 実施の 方向性	実施
	事務	务事業名	水道施設管理事務事業	l			事務事	業コード	151-0	2-02	7			
	総計に基事業の進捗		度 A 順調である		継続・ 新規	継続	法定・	自治事務(任	(音の+の)	担当 H29	-L/* E			*
2					初ル元		自治	D/D 7-33 (D	[息のもの)	担ヨ Inza	水坦向.	工務課	^{H30} 水i	道局工務課
		対象(誰を・何	羽曳野市水道事業の 水区域内住民	設置等に関する条		第2項の給		8事業評価 (工務課	H30 水流 二次評価文	
	事数事業の	目的	水区域内住民 安全で安心して利用す	することのできる水	例の第2条の 道水を安定し	て提供する	29年度事務	務事業評価 (合評価・	〔28年度実施	事業) 最	終結果	妥当性	二次評価対	対象事業 効率性
	事務事業の 概要	目的	水区域内住民	することのできる水	例の第2条の 道水を安定し	て提供する	29年度事務	務事業評価 (〔 28年度実施 現状維持	事業) 最	を終結果 からの評価	妥当性	二次評価文 有効性 人	才象事業
		目的	水区域内住民 安全で安心して利用す	することのできる水: 「ためる」施設の管 羽曳山配水場・伊賀受 区配水池・壺井配水池等	例の第2条の 道水を安定し 管理を適正に行 水場・西浦受水場	て提供する 計	29年度事務 総 今後	条事業評価 (合評価・ の方向性 必事業費 市負担額)	現状維持 28年原	西事業) 量	を終結果 からの評価	妥当性 人 (当初)予算 875,673	二次評価文 有効性 A 額 30年度 実施の	対象事業 効率性 A 実施
		目的 (どうしたいのか 手段	水区域内住民 安全で安心して利用す ための「つくる」「送る」 石川浄水場・壺井浄水場・ 水池・低区第2配水池・高区	することのできる水: 「ためる」施設の管 羽曳山配水場・伊賀受 区配水池・壺井配水池	例の第2条の 道水を安定し 管理を適正に行 水場・西浦受水場	て提供する 計	29年度事務 総 今後	条事業評価 (合評価・ その方向性 発事業費	現状維持 28年原	事業) 最 等 各視点 要決算額	を終結果 からの評価	妥当性 A (当初)予算	二次評価文 有効性 A	対象事業 効率性 A 実施
	概要	目的 (どうしたいのか 手段	水区域内住民 安全で安心して利用す ための「つくる」「送る」 石川浄水場・壺井浄水場・ 水池・低区第2配水池・高区	することのできる水: 「ためる」施設の管 羽曳山配水場・伊賀受 区配水池・壺井配水池	例の第2条の 道水を安定し 管理を適正に行 水場・西浦受水場	て提供する 計	29年度事務 総 今後	帝事業評価 (合評価・ の方向性 よ事業費 市負担額) 単位:千円	現状維持 28年原	香事業) 量 各視点 変決算額 710,906 710,906	を終結果 からの評価	妥当性 人 (当初)予算 875,673	二次評価文 有効性 A 額 30年度 実施の	対象事業 効率性 A 実施
	概要	目的 (どうしたいのか 手段 (事業内容)	水区域内住民 安全で安心して利用すための「つくる」「送る」 石川浄水場・壺井浄水場・水池・低区第2配水池・高区道施設を日常的に適正な智	することのできる水:「ためる」施設の管 羽曳山配水場・伊賀受 図配水池・壺井配水池・ 管理を行う	例の第2条の 道水を安定し 詳理を適正に行 水場・西浦受水場 等の「つくる」「送る	て提供する 言う 場・低区第1配 より「ためる」水 継続	29年度事務 総 今後 (うち	帝事業評価 (合評価・ の方向性 よ事業費 市負担額) 単位:千円	現状維持 28年度 11 (香事業) 量 各視点 変決算額 710,906 710,906	を終結果 からの評価	妥当性 A (当初)予算 875,673 875,673	二次評価文 有効性 A 30年度 実施の 方向性	対象事業 効率性 A 実施
3	事系 総計に基	目的 (どうしたいのか 手段 (事業内容)	** 水区域内住民 安全で安心して利用する 大皮の「つくる」「送る」 石川浄水場・海野浄水場・高し道施設を日常的に適正な お水栓管理事務事業 日 概ね順調で 羽曳野市水道事業の 水区域内住民 水区域内住民	することのできる水、「ためる」施設の管 羽曳山配水場・伊賀曼 窓配水池・壺井配水池等 管理を行う	例の第2条の 道水を安定して 下理を適正に行 水場・西浦受水場 等の「つくる」「送る 継続。 新規 例の第2条の	て提供する デう ・低区第1配 ら」「ためる」水 継続 第2項の給	29年度事務 ※ 会後 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	高事業評価 (合評価・ の方向性 と事業費 市負担額) 単位:千円	現状維持 28年度 1 (151-0 任意のもの)	事業)量等 各視点	を終結果 からの評価 29年度) (水道局.	妥当性 A (当初)予算 875,673 875,673	二次評価対 有効性 A 30年度 実施の 方向性 *** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	対象事業
3	概要 総計に基事業の進捗 事務事業の	目的(どうしたいのか) 手段(事業内容) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	水区域内住民 安全で安心して利用すための「つくる」「送る」 石川浄水場・壺井浄水場・水池・低区第2座水池・高区道施設を日常的に適正な智 給水栓管理事務事業 別曳野市水道事業の水区域内住民 民間開発の配水給水設・改造等の工事に、 と、改造等の工事に、	することのできる水: 「ためる」施設の管 羽曳山配水場・伊賀受区配水池・壺井配水池・ 管理を行う ある 設置等に関する条 管の布設や個人実 水道法及び羽曳里	例の第2条の 道水を安定し 详理を適正に行 水場・西浦受水場 等の「つくる」「送る 継続・ 新規 例の第2条の 保屋の給水装置 予市水道事業系	て提供する うう。低区第1配 ら」「ためる」水 継続 第2項の給 置工事を新	29年度事系	高事業評価 (合評価・企の方向性 を事業費 市負担額) 単位:千円 自治事務(任	現状維持 28年度 1 (151-0 任意のもの)	医事業) 量 各視点	終結果	妥当性 A (当初)予算 875,673 875,673	二次評価效 有効性 A 30年度 変施の 方向性 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	対象事業 効率性 A 実施
3	概要 事務 総計に基 事業の進捗	目的 (どうしたいのか 手段 (事業内容) 落事業名 対象(誰を・何:	** ** ** ** ** ** ** ** ** **	することのできる水: 「ためる」施設の管 羽曳山配水場・伊賀受 忍配水池・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	例の第2条の 道水を安定して 注理を適正に行 水場・西浦受水場等の「つくる」「送る を のの第2条の 程屋の給水装置 行両正に行立な である。	て提供する う ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	29年度事系 ※後 ※後 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	高事業評価 (合評価・ の方向性 部東費 市負担額) 単位:千円 自治事務(日 合許事業評価 (合評価・	28年度実施 現状維邦 28年 (151-0 (28年度実施 改善して継	医事業) 量 各視点	終結果 29年度) (水道局	妥当性 A (当初)予算 875,673 875,673	二次評価対 有効性 A 30年度第の付 方向性 こ次評価対 再効性 B	対象事業

基	基本事業名	水道	料金関連	移				対 (誰を		<u>+</u>)	市民等								
i	基本事業 コード		152-01				×事業の 概要	目 (どうした	的	247	給水収益	益を確保する。							
第6	次羽曳野市約	合基:	本計画					(2)013	_6 10)/J·)									
	策目標	1)ある住みよいまち					指標	名		単位		3.4時点 i (総計)		年度		年度
	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	5 2	上下水道水道惠業		基盤の強化	40\A.	基本計画				_			現状 個	1(総計)	3	ミ績	目標(.総計)
		_			原を活かしたまちづくり		基本計画 標指標												
	ちづくりの 战略				ン・安全に暮らせるまちづくり														
			(3)人口	減少下の	の活力と成長に向けたまちづくり														
	事	务事業	名	水道料	·金徽収事務事業				事	務事業	コード	152-01-	-01						
		計に基づく の進捗状況 (29年度 A 順調である					継続・ 新規	継続	法自	定・ 自治	治事務(義	務的なもの) 担	当 H28	水	道局総務	課	нзо 水	道局総	務課
									29年	度事務事	業評価	(28年度実施事	業):	最終結果	Ę		二次評価	対象事業	ARE
•	事務事業の 概要	(どう	目的 したいのか)		事業の経営安定化のための適正	Eな水道	1料金の第	定及び収			評価・)方向性	現状維持	各視点	いらの評	妥	_	有効性 A	Ż	b A
	101.54	(3	手段 事業内容)	水道メ	マーターの検針から料金徴収ま ⁻	での事剤	务委託				「業費 負担額) 単位:千P		天算額 93,297 86,715) (D) 予算客 10,590 15,633	30年)実施の方向	מ	実施
													-,,			-,	7 1 2 3 1 3		
	事	务事業	水道メーター管理事務事業						事	務事業	コード	152-01-	-02						
		計に基づく の進捗状況 ^{(28年度} 人 順調である				継続・ 新規	継続	法自	定· 自治	治事務(義	務的なもの) 担	当 H29	水	道局総務	課	нзо / К	道局総	務課	
,		対象(誰を・何を) 水道メーター(量水器)						29年	度事務事	業評価	(28年度実施事	業):	最終結果	Ę		二次評価	対象事業	THE STATE OF THE S	
2	事務事業の概要	事業の(どう) たいのか) 適正な料金算定のために必要な水道				シータ-	一(量水器)の管理			評価・)方向性	現状維持	各視点	からの評	T / JE	当性 ^	有効性 A	Ż	h率性 A
		(事					器)取替•	新設個数			業費 負担額) 単位:千P		央算額 20,959 20,959	25		D) 予算客 3,977 3,977	第 30年 実施 方向	カ	実施

-	十 市 # 4	総務事務						対	象		+	* - -						
	本事業名						事業の	(誰を	何を)	市氏・水:	道局職員等						
	本本事未 コード	15	52-02				既要	目 (どうした	的いの	₩)	適正な管	理事務の推	進を図	る。				
	欠羽曳野市総							(2)0/2	.0.07	73.7								
,,,,	策目標 策		適でうる 下水道	おいのな	ある住みよいまち					指標	名		単位	H28.			29年度 32年度 実績 目標(総記	
	策の方向	2 水	道事業の		基盤の強化		基本計画											
	ちづくりの				を活かしたまちづくり ・安全に暮らせるまちづくり	目标	票指標											
戦	略)活力と成長に向けたまちづくり	J												
	事務	寄業名		人事管理	理事務事業				事務事業コード			152-02	2-01					
	総計に基 事業の進捗	づく :状況	29年度)	Α	順調である		継続・ 新規	継続	法定・ 自治事務(義務的なもの)			務的なもの)	担当 H2	水道	1局総務	課 H	30 水道	局総務課
		対象(誰を		水道局 嘱託員		€·再任用!	職員・非常	常勤職員・	29年度事務事業評価 (28年度実施事				事業)	最終結果			二次評価対	象事業
1	事務事業の	目的			 労務管理					総合	評価・	現状維持	久妇占	からの評値	妥当		有効性	効率性
	サ份争未の概要	(どうしたい	いのか)	阿正/4)	刀伪旨垤						方向性				<i>,</i>		В	Α
		手段 (事業内		給与•人	人事関連の管理、安全衛生	委員会の遺	『 営			総事(うち市)	業費 負担額)	28年度	汉算額 3,986	294	∓度(当初	リンプ 算額 3,407	30年度 実施の	実施
		(尹未四	1台/								単位:千円	(3,986) (3,407	方向性	
	事務	寄業名	,	入札·契	段約事務事業				事	務事業コ	コード	152-02	2-02					
	総計に基事業の進捗		29年度)	Α	順調である		継続・ 新規	継続	法自	定・ 自注	治事務(義	務的なもの)	担当 H2	水道	1局総務	課出	30 水道	 局総務課
	事業の進捗	対象(誰を	・何を)	入札·契	契約事務				29年	度事務事	業評価 (28年度実施	事業)	最終結果			二次評価対	象事業
2		目的	5	公平・公	公正な入札、適正な契約事務	多の執行	执行				評価・	現状維持	各視点	いらの評値		当性	有効性	効率性
	概要	手段		工事請負、測量・設計コンサルタントをはじめとする業務委託、物									28年度決算額 29年度(当初) ⁻²				B 30年度	A
					購入に係る入札・契約事務	トをはしめ	はじめとする業務委託、物			(うち市:	負担額) 単位:千円	(27,069 27,069) (7,511 7,511	実施の 方向性	実施
	(事業内容)								_									_
	総計に基	番業名		出網·会	計事務事業		継続•		事: 法:	務事業二		152-02						
	事業の進捗	状況	29年度)	A	順調である		新規	継続	自	治			担当 н2		自局総務		_	局総務課
3		対象(誰を	・何を)	水道事:	業会計				29年	度事務事	業評価(28年度実施	事業):	最終結果	1 1731		二次評価対	
	事務事業の 概要	目的 (どうしたい			業に係る全ての収入・支出を 簿を作成することを目的とす		・理し、実	態に則した			評価・ 方向性	現状維持	各視点	まからの評価		id性 A	有効性	効率性 A
	194.安	手段			業として行う全ての経済活動						業費	28年度	決算額	294))) 予算額		pto 15
		(事業内	(突)		票する。また、年度末に地方 規程に準拠して実態に即し					(うち市:	負担額) 単位:千円	(21,385 21,385) (9,968 9,968	実施の 方向性	実施
	事務	等業名		広報事態	*				事	務事業〓	コード	152-02	2-04	\exists				
	総計に基		29年度)	В	概ね順調である		継続・	継続	法		治事務(義)	務的なもの)	担当 出2	水道	1 局総務	課	30 水道	這局総務課
	事業の進捗状況		・何を)		│ 市内事業所・上水道利用者		新規		29年	70			事業)				二次評価対	象事業
4	事務事業の	目的(どうしたい	う (なか)	水需要だ	が伸び悩む中、常に安全・3 をPRすることにより、水道事	業への理解					事務事業評価 (28年度実施事業評価・ 総合評価・ 今後の方向性 改善して継続			改善して継続各視点からの評価			有効性	効率性 A
	概要	手段(事業内	(2000)	広報紙・ 水を使り	多くの水道水を利用していか やホームページへの記事の 用したボトルドウォーターの 開催等。)掲載。本F			-	総事	業費	28年度	2,964	294		D)予算額 4,017 4.017		実施
				ナエい	カルド・						単位:千円	(2,964) (4 ,01/	刀門狂	

基	基本事業名							対 (誰を [,]		F)	水道事	業								
	基本事業 コード 次羽曳野市総	合基本	152-03				事業の既要	目的 (どうしたいのか) 健全で言				健全で計画的な運営を図る。								
	5策目標 5策		快適でうる 上下水道		ある住みよいまち			指標名					単位	H28. 現状値	4時点 (総計)		年度 E績	32年月 目標(総		
ま	を まづくりの	2	(1)羽曳	野の資源	基盤の強化 原を活かしたまちづくり ・・安全に暮らせるまちづくり		基本計画 票指標													
戦	略)活力と成長に向けたまちづくり															
	事務	事務事業名 整備計画管理事務事業							事	務事業	コード	152-03-	01							
		総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度) 一 違成・終了				継続・ 継続			法定・ 自治事務(義務的なもの)				当 H2	水	道局総務課 H30 7			水道局総務課		
1		対象(誰を・何を)		水道施	設・管路の整備事業				29年	度事務事	事業評価	(28年度実施事	業)	最終結果				価対象事業		
	事務事業の 概要	概要 ・				の着実に耐震化事業等を進			総合評価・ 今後の方向性		現状維持	各視点	からの評	価	当性 ^	有効性 A	<u></u>			
				水道施設・管路と水道事業を取り巻く外部環境の現状と将来見通しを 定(改定)する。また、施設・管路の健全性を把握する指標や耐震化率 分析し、計画に沿った整備事業を実施できるよう局内調整を図る。				C整備計画を策 とに整備状況を			念事業費 □市負担額) 単位:千円 (度決算額 29 18,678 18,678) (29年度(当初)予算 4,073 4,073		到 30年 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第	Ď –	_	
	事務						事	務事業	コード	152-03-	02	1								
					継続・ 新規	続· 継続		法定· 自治		務的なもの) 担	担当 H29		直局総務	課	нзо 水	道局総務	課			
2	対象(誰を・何を		誰を・何を)	水道事	業経営				29年	度事務事	事業評価	(28年度実施事	業)	最終結果			二次評価			
_	事務事業の概要		健全か	健全かつ安定的な事業経営を持続的に行うこ		とを目的	総合記 会後のご		計評価・ 功方向性 現状維持		犬維持 各視点からの評		inc	当性 人	有効性 A					
				を策定	業費や起債額など収入・支出を (改定)する。また、各種指標を 沿った経営を行うよう局内調整	用いて紅	経営状況				事業費 i負担額) 単位:千F		等額 8,801 8,801) (D) 予算額 6,665 6,665	30年 実施の 方向性	実	施	

基	本事業名	災害に備えた管	f路・施設の整備			†象 ・何を)	水道施訂	投等						
	基本事業 コード 次羽曳野市総	153-01		基本事業の 概要	目的 (どうしたいのか) 地震等の災害に強い)施設環境の整備を図る。					
施施施	策目標 策 策の方向	1 快適でう 5 上下水道 3 水道施設	るおいのある住みよいまち 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「 「	総合基本計画目標指標	送配水管の		漂名		単位	H28. 4時点現状値(総計		29年度 実績 27.8	32年度 目標(総計) 33.0	
	ちづくりの :略	O (2)だれ	まりが安心・安全に暮らせるまちづくり 減少下の活力と成長に向けたまちづくり											
		等業名	管路·施設更新事業			事務事業	tコード	153-01-	01					
	総計に基準の進捗		A 順調である	継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治事務(任	任意のもの) 担	当 H29	水道局	務課	нзо 水	道局工務課	
1		対象(誰を・何を)	羽曳野市水道事業の設置等に関する 水区域内住民	条例の第2条の	第2項の給	29年度事務	事業評価	(28年度実施事	業)最	ł終結果		二次評価		
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	管路や施設の整備・更新を行い、耐震 水の安全・安心・安定の確立を目指す	化を図ることに。	より、水道		合評価・ の方向性	現状維持	各視点	からの評価	<u>妥当性</u> A	有効性	効率性 A	
	,,,,	手段 (事業内容)	老朽化管路及び施設の耐震化を計画は すると伴に下水や大阪ガス等の地下均路の整備・更新を行う			総事業費 (うち市負担額) 単位:千円 (48	年度決算額 29 ^年 488,523 488,523) (度(当初)予算額 1,529,207 1,529,207 7		実施	
	事務	事業名	災害時体制整備事業			事務事業	ニード	153-01-	-02					
	総計に基 事業の進捗		A順調である	継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治事務(任	任意のもの) 担	当 H29	水道局	務課	нзо 水	道局工務課	
2	対象(誰を・何を		羽曳野市水道事業の設置等に関する 水区域内住民	第2項の給	29年度事務	事業評価	(28年度実施事	業)最	ł終結果		二次評価			
_	- 本本本 · 目的		南海・東南海地震など大規模地震や水 え、資材物資の備蓄・配備等および活				合評価・ の方向性			からの評価	<u>妥当性</u>	有効性	効率性 A	
		職要 手段 (事業内容) を行うと伴に、有事の際の活動訓練を				総事業費 28年度ジ (うち市負担額) 単位:千円 (E決算額 29年度 4,733 4,733) (当初)予算額 6,869 6,869) 方向		実施	

						—		4.1	岳								
基	本事業名	快適	な生活環境	竟の確保	k			×バ (誰を	象 •何a	<u>*</u>)	市民						
	基本事業 コード	\ \ \ \ + -	154-01				事業の 既要	目 (どうした	的 <u>-</u> いの	りか)	清潔で快	適な生活環境	竟を確保	戻する。			
	次羽曳野市総 第四番	台基		7 + 1 1 0	D+ 7 /- 1. L1.++												
施施	策目標 第	1 5	快過でつ		のある住みよいまち					指	標名		単位	H28.4時 現状値(総		29年度 実績	32年度 目標(総計)
	策の方向	4	下水道事			総合基	基本計画	下水道人口	Mr. 77.	ata .					04.0	20.7	001
±	ちづくりの				源を活かしたまちづくり		票指標	下水道人口	首及	.平			%		81.6	83.7	83.5
	らって900 :略	0			心・安全に暮らせるまちづくり												
			(3)人口	減少下ℓ	の活力と成長に向けたまちづくり												
	事務	務事業	名	水洗化	比促進事業				事	務事	業コード	154-01-	-01				
	総計に基事業の進捗		(29年度		概ね順調である		継続・ 新規	継続	É	定・ 自治	自治事務(義務	-		下水道	総務課	H30 下	水道総務課
,		対象((誰を・何を)	公共下 の家庭	下水道が整備済みの地区におけ 庭	ける下水:	道管(汚フ	k)の未接続	29年	F度事務	務事業評価 (28年度実施事	業)」	是終結果		二次評価	対象事業
			目的		下水道への未接続家庭をなくし、					総	合評価・	70.11.44.14	4.40		妥当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要	(どうし	たいのか)	める。 る。	下水道の接続率を上げ、公共	ト水道の)健全経過	当に奇与す		今後	の方向性	現状維持		からの評価	Α	В	Α
			手段	下水道	道供用開始区域の未接続家庭を	を対象とし	した戸別	訪問等によ			等業費 市負担額)	28年度》	天算額 7.056	29年度	(当初)予算 6.784	30年月 実施の	
		(事	(業内容)	り、下フ	水道接続の啓発活動を行う。					()6	単位:千円	(7,056) (6,784		
														_			
	事務	事業	名	汚水整	を備事業				事	務事	業コード	154-01-	-02				
	総計に基 事業の進捗		(29年度	Α	順調である		継続・ 新規	継続		定・ 自治	自治事務(義務	所的なもの) 担	担当 H29	下水道	建設課	H30 下	水道建設課
2		対象(誰を・何を) 市民全体								F度事務	务事業評価 (28年度実施事	業)	是終結果		二次評価	対象事業
2			目的	市民が	が衛生的で快適な生活が営める	ふように生	上活環境(の改善と水		総	合評価・	== 15 6% 14			妥当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要	事業の (どう) たいのか) 煙み美太図る					か カーエル 環境の 以告と小			今後	の方向性	現状維持		からの評価	Α	В	Α
			手段 (業内容)	流し、生活	水を水路や側溝に流さず、汚水管によって仮 活環境の改善と水質改善を図る事業。 工事 移設を行い、汚水管渠工事及び宅内の汚水	の測量、設	計、家屋調				8事業費 市負担額) 単位:千円		央算額 62,810 31,960	29年度	(当初)予算 1,276,172 471.686	実施の	実施

基本事業名	効果的	内な漫水対策の	推進		対象 (誰を・何を)	市民	市民									
基本事業 コード		154-02		基本事業の 概要	目的	生命。	・財産等を浸水被	宝から	守 る							
第6次羽曳野市総				(どうしたいのか)	- In	州庄寺と泛小阪	- N.D	ەرە. ئ								
施策目標		1 快適でうるおいのある住みよいまち				指標名		単位	H28.4時点	29年度	32年度					
施策		上下水道					+	H28.4時点 現状値(総計)	実績	目標(総計)						
施策の方向	4	下水道事業の	推進	総合基本計画												
±+ -2/11 o		(1)羽曳野の資	資源を活かしたまちづくり	目標指標												
まちづくりの 戦略	0	(2)だれもが安	で心・安全に暮らせるまちづくり													
十九四口	(3)人口減少下の活力と成長に向けたまちづくり															
事務	事業名	雨水	整備事業		事務事	業コード	154-02-	-01								

	事務	事業名	雨水整備	事業			事務事業コード			154-02-01						
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度 事業の進捗状況 (29年度				継続	法自	法定・ 自治	自治事務(義務的なもの)	担当	á H29	下水道	直建設課	нзо 下7.	〈道建設課	
,	対象(誰を・何を) 市民全体					29年	F度事務	務事業評価	(28年度実施	色事業)最終	結果		二次評価対	 	
•		目的	雨水によ	ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	険が及は	ないように		総合評価・		70.15.44.1	+	- 4m - 7 - 7		妥当性	有効性	効率性
	事務事業の 概要	(どうしたいのか)	し、快適	たる 浸水寺 で、 市民の 生命・財産に 厄な生活を送れるまちとする。				今後	の方向性	現状維持	守る	各視点から	の評価	Α	Α	Α
	対象降雨に対し、雨水管渠等により、公共用水域に雨水を排水				水を排水			8事業費	28年	度決算	草額	29年月	度(当初)予算額	30年度		
	_(車業内突) し、巾氏が住みよいよりつくりを行つ手来。工事の測重、設計、刻					(うち	市負担額)		93,	074		95,288	実施の	実施		
	屋調査、水道管・ガス管等の移設を行い、雨水管渠等の工事				の工事を行			単位:千	円 (57,	174)	(58,188	方向性		

			IP AIR		対	·象							
	本事業名	経営健全化の	性進		(誰を		下水道	事 莱					
	基本事業 コード ク羽曳野市総	155-01		基本事業の 概要 		的 :いのか)	経営の個	建全化とともに透明性	に透明性の向上を図る。				
	策目標		るおいのある住みよいまち 1			指標	名	単位	H28.4時点 現状値(総計)	29年度 実績	32年度 目標(総計)		
施	策の方向 ちづくりの	(1)羽曳	- 事業の経営基盤の強化 野の資源を活かしたまちづくり もが安心・安全に暮らせるまちづくり	総合基本計画 目標指標									
+,0	***	(3)人口	減少下の活力と成長に向けたまちづ -	くり					<u> </u>				
	事務	 第事業名	下水道使用料徵収事務事業			事務事業	コード	155-01-01					
	総計に基 事業の進捗		A 順調である	継続・ 新規	継続	法定· 自治	治事務(日	任意のもの) 担当 H28	下水道総	務課 H30 -	下水道総務課		
1		対象(誰を・何を)	下水道使用者			29年度事務事	業評価	(28年度実施事業)	最終結果	二次評化	西対象事業		
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	下水道使用料を遅滞無く徴収す	ることを目的とする。		総合評価・ 今後の方向性		現状維持 各視点	いらの評価	A B	数率性 A		
	手段(事業内容		・下水道使用料徴収に関する業の認定業務・下水道使用料の徴務				業費 負担額) 単位:千円	28年度決算額 64,988	29年度(当	73,279 30名 73,279 方向	実施		
	事務	務事業名	受益者負担金賦課徵収事務事業			事務事業	コード	155-01-02	\exists				
	総計に基 事業の進捗		A 順調である	継続・ 新規	継続	法定· 自治	治事務(任	£意のもの) 担当 H28	下水道総	務課 H30 -	下水道総務課		
		対象(誰を・何を)	公共下水道整備事業によって利	益を受ける受益者			業評価	(28年度実施事業)	最終結果	二次評化	西対象事業		
2	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	受益者負担金を遅滞無く徴収す	ることを目的とする。			評価・)方向性	現状維持 各視点		A B	数率性 A		
		手段 (事業内容)	公共下水道整備事業によって受 積に単位負担金(1㎡あたり450P				業費 負担額) 単位:千円	28年度決算額 9,312 9 (9,312	29年度(当	(4初) 予算額 30名 10,236 実施 10,236) 方向	実施		
	事務	務事業名	地方債(下水道事業)管理事務事業	<u> </u>		事務事業	コード	155-01-03	7				
	総計に基づく 事業の進捗状況 (29年度		A 順調である	継続・ 新規	継続	法定· 自治	治事務(日	任意のもの) 担当 H28	下水道総	務課 H30 -	下水道総務課		
	対象(対象(誰を・何を)	下水道事業に係る地方債の発行	〒、償還及び残高		29年度事務事	業評価	(28年度実施事業)	最終結果	二次評化	西対象事業		
3		目的 (どうしたいのか)	世代間負担の均衡を保ち、後年縮減に努め、下水道事業の経営		ならないよう		評価・)方向性	改善して継続 各視点		E当性 有効性 A B	数率性 B		

基	基本事業名	下水道施設等の	の管理・更新			†象 •何を)	下水道施	設等								
	基本事業 コード 次羽曳野市総	156-01		基本事業の 概要		目的 (どうしたいのか) 計画的な改築・修約				着とともに耐震化を推進する。						
施	5策目標 5策 5策の方向	5 上下水道 6 下水道施	るおいのある住みよいまち 直 直 直 記などの更新 野の資源を活かしたまちづくり	総合基本計画 目標指標		指	標名			H28.4時点 状値(総計)		年度 [[32年度 目標(総計)			
	さづくりの は略	O (2)だれ	もが安心・安全に暮らせるまちづくり 減少下の活力と成長に向けたまちづくり	II IX II IX												
	事務	8事業名	下水道施設等管理事務事業			事務事業	業コード	156-01-	01							
	総計に基 事業の進捗		A 順調である	継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治事務(義系	務的なもの) 担	当 H29	下水道総務	務課	H30 下水	道総務課			
1		対象(誰を・何を)	ポンプやゲート等の下水道等の施設	•	-	29年度事務事業評価 (28年度実施			業) 最終	結果		二次評価対	象事業			
	事務事業の 概要	目的 (どうしたいのか)	下水道施設等の運転管理を確実に行 の保全に努める。	管理を確実に行い、浸水の予防や水環境			合評価・ の方向性	現状維持	各視点から	O = 1 = 1	当性 A	有効性	効率性 A			
		手段(事業内容)	下水道施設等の運転監視及び保全等の維持管 取水ゲート18箇所、貯留施設3箇所、雨水ポン 所、マンホールポンプ29箇所、水位監視カメラ5	プ1箇所、汚水中継:		総事業費 28年 (うち市負担額) 単位:千円 (64	28年度決算額 29年 64,356 62,251) (初) 予算額 76,630 74,530	30年度 実施の 方向性	実施			
	事務	務事業名	下水道施設等改修事業			事務事業	業コード	156-01-	02							
	総計に基 事業の進捗		A 順調である	継続・ 新規	継続	法定· 自治	自治事務(義和	務的なもの) 担	当 H29	下水道総務	務課	H30 下水	道総務課			
2		対象(誰を・何を) 下水道施設				29年度事務	8事業評価 (28年度実施事	業) 最終	結果		二次評価対	象事業			
	事務事業の 概要			や事故発生を未	:然に防止	総合評価・ 今後の方向性		現状維持	各視点から	の転車	当性 A	有効性	効率性 B			
		概要 手段 点検・調査を実施し、「下水道長寿命化 ・事業内容) ネジメント」に基づく改築・修繕事業を身			道ストックマ	総事業費 28年月 (うち市負担額) 単位:千円(·算額 0,077 0,077)		初) 予算額 47,993 15,993	30年度 実施の 方向性	実施			